

湖国の感動 未来へつなぐ

第79回国民スポーツ大会

わたSHIGA輝く国スポーツ

2025



バドミントン競技会

開催日 2025年9月28日(日)~10月1日(水)

会場 滋賀ダイハツアリーナ

主催 公益財団法人日本スポーツ協会
文部科学省 滋賀県
公益財団法人日本バドミントン協会
大津市



公益財団法人日本スポーツ協会

文部科学省 滋賀県

公益財団法人日本バドミントン協会

大津市



JAPAN
GAMES

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストレーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャッフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャッフィー

「キャッフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャッフィー」に教えてもらっています。

「キャッフィー」と「チャッフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目 次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤 利明	4
文部科学大臣 あべ 俊子	5
公益社団法人日本バドミントン協会 会長 村井 満	6

歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長 滋賀県知事 三日月 大造	7
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会会長 大津市長 佐藤 健司	8
滋賀県バドミントン協会 会長 藤原 健二	9

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	10
---------------------	----

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	11
---------------------	----

大会役員	12
------	----

競技会役員	16
-------	----

競技役員	18
------	----

競技補助員・競技会係員・競技会補助員	22
--------------------	----

総則	23
----	----

実施要項	42
------	----

開始式次第	46
-------	----

表彰式次第	47
-------	----

競技日程	48
------	----

タイムテーブル	49
---------	----

バドミントン競技 組合せ表	50
---------------	----

バドミントンを楽しく見るため	53
----------------	----

都道府県別参加人数一覧表	55
--------------	----

都道府県別出場監督・選手一覧	56
----------------	----

競技成績決定方法	63
----------	----

総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表	64
------------------	----

過去の成績一覧表	65
----------	----

競技会場案内図	90
---------	----

練習会場案内図	91
---------	----

競技会場配置図	92
---------	----

競技上の注意	94
--------	----

審判上の注意	97
--------	----

輸送について	98
--------	----

関係機関連絡先一覧	99
-----------	----

敷 地 内 全 面 禁 煙

ただし、望まない受動喫煙防止のため喫煙所を設置しています。

喫煙される方は、指定された喫煙所をご利用ください。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会長 遠藤 利明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元氣にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年から「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文部科学大臣

あべ 俊子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和7年7月31日

あいさつ



公益財団法人日本バドミントン協会

会長 村井 満

国民スポーツ大会へ 2年目を迎えて・・・

滋賀県での開催は、昭和 56 年（1981 年）の「びわこ国体」以来 44 年ぶりとなります。昨年の名称変更初年度の記念すべき大会「SAGA2024 新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」から 2 年目の「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」へ、バドミントン競技会が県庁所在地である大津市において再び開催されますことは、誠に喜びに堪えないところであり、心からお喜び申し上げます。

今回の大会スローガンは、「湖国の感動 未来へつなぐ」です。「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めています。国内最高峰のスポーツの祭典としての感動を「琵琶湖」から発信されることを期待したいと思います。

選手の皆様には、郷土の代表としての誇りを胸に、最高のパフォーマンスを発揮されることを期待しています。それは、大会を支える関係者すべての願いであり、さらに観るものすべてに感動を与えることにつながると確信しています。

近年、日本のバドミントン競技レベルは世界のトップランクであり、ロサンゼルスオリンピックに向けて、メダル獲得できる選手が出ることを期待いたします。そして、その熱気が「わた SHIGA 輝く国スポ バドミントン競技会」につながるよう、地元の皆様のおおいなる盛り上げを期待しております。

結びに、開催にご尽力いただきました地元大津市と滋賀県の関係者、滋賀県バドミントン協会の皆様に、心から感謝申し上げますとともに、大会の成功と参加される皆様のご健闘を心からお祈り申し上げ、あいさつといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三日月 大造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できることは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にしていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わたS H I G A 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会会長

大津市長 佐藤 健司

わたS H I G A 輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会 バドミントン競技会」が、大津市にて盛大に開催できることを大変嬉しく思います。全国各地より参加される選手・監督、大会関係者の皆様をはじめ、大津市にお越しいただく方々を、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

わたS H I G A 輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会」は、昭和56年の「びわこ国体」以来、44年ぶりに滋賀県での開催となります。大津市では、選手の皆様が最大のパフォーマンスを発揮できるように会場の準備を整えるとともに、応援のぼり旗などの会場装飾づくりや地元食材を盛り込んだ「OTSU国スポこだわり弁当」の献立づくり、市内にちりばめられた歓迎装飾など大津市民をあげたおもてなしでお迎えできるように取り組んでまいりました。

また、各会場では、ボランティアによる大津の銘菓などのふるまいのほか、特に子どもたちが様々なスポーツに興味を持つてもらえるように、選手の皆様の競技を観戦することに加え、競技体験などの企画も準備いたしました。スポーツの素晴らしさを体現・体感し、皆様の記憶に残るような大会となりますことを、心より願っております。

さて、琵琶湖の恵みと比良・比叡の山々の緑に囲まれた大津市は、紫式部ゆかりの地である石山寺や三井寺、世界遺産比叡山延暦寺などの自然と歴史が調和した、豊かな文化が息づく地域です。今年は琵琶湖疏水施設が国宝・重要文化財に、坂本城跡が国史跡にそれぞれ指定されるなど、改めてその魅力が注目されています。また、近江牛や文化庁の「100年フード」の認定を受けた大津のうなぎなどの滋賀県・大津市の特産品や郷土料理に加え、琵琶湖でのクルーズなどのアクティビティもお楽しみください。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



滋賀県バドミントン協会

会長 藤原 健二

ようこそ湖国滋賀へ。

全国各地から「ふるさと」を代表して出場される選手、監督、役員の皆様を県都大津市にある滋賀ダイハツアリーナへお迎えし、第79回国民スポーツ大会バドミントン競技会を開催できることは、この上ない喜びであり、心から歓迎申し上げます。

さて、前回の滋賀国体も県都大津市にある皇子が丘公園体育館で開催され、44年の時が経ちました。その間、スポーツをとりまく環境や人々のスポーツへの関心やかかわり方も大きく様変わりしてまいりました。

大会の名称も国民体育大会から国民スポーツ大会へと変わり、今年で2回目となります。多くの人々がスポーツや大会の持つ本来的な価値に注目するようになってまいりました。

近年、バドミントン競技会にもオリンピック選手をはじめ、成年、少年ともに国内トップレベル選手の出場により、人々の関心は高まるばかりです。コートで繰り広げられる質の高いプレーは言うまでもなく、コート内外での選手の立ち居振る舞いからも、人々に与える影響は計り知れないものがあります。

選手ならびにチームの皆さんには、一丸となって勝利を目指しバドミントンを大いに楽しんで頂き、観ている人々の心に皆さんの姿や気迫などを刻み付けてくださるよう心から健闘を祈っています。そして本競技会を機にバドミントンやスポーツを好きになってくれる人が一人でも増えることを願って止みません。

また、滋賀には豊かな自然、彩にあふれた歴史や文化もあり、お時間の許す限り心を癒し、食やお酒、おしゃべりも大いに楽しんでいただければ幸いです。

結びに、本競技会開催にあたり格別のご理解、ご支援、ご協力、ご指導を賜りました全ての関係者の皆様に心から深く感謝申し上げ、歓迎の言葉といたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定
昭和45年1月22日一部改定
昭和48年7月10日一部改定
昭和54年5月9日一部改定
平成17年6月16日一部改定
平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定
令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大 会 役 員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

名 誉 会 長	あ べ 俊 子			
会 長	遠 藤 利 明			
副 会 長	益 子 直 美	田 中 不 二 夫	三 宮 恵 利 子	森 岡 裕 策
	室 伏 広 治	三 日 月 大 造	河 本 英 典	
顧 問	伊 藤 雅 俊	森 喜 朗	橋 本 聖 子	安 西 孝 之
	岡 崎 助 一	越 川 均	坂 元 要	勝 田 隆
	室 伏 由 佳	村 松 さ や か	湯 川 和 之	植 田 実
	櫻 井 由 香	鹿 島 丈 博	吉 岡 成 子	石 井 砂 織
	笠 師 久 美 子	飯 塚 悟	久 保 正 美	浦 美 奈 子
	木 平 芳 定	中 嶋 実	小 寺 洋	桐 木 陽 子
	旗 生 康 之	池 田 め ぐ み	工 藤 保 子	久 保 直 生
	藤 田 裕 司	藤 原 誠	室 城 信 之	金 子 日 出 澄
	貝 瀬 智 洋	森 晃	土 橋 登 志 久	石 丸 元 国
	多 氣 洋 平	井 崎 洋 志	鬼 頭 有 紀 子	長 谷 川 洋 子
	吉 田 長 寿	齋 木 尚 子	多 賀 恒 雄	安 藤 淳
	上 治 丈 太 郎	湧 永 寛 仁	上 原 絵 美	佐 藤 健 司
	馬 場 美 香	山 口 宏	南 和 文	宮 永 美 寿 津
	千 田 健 一	中 里 壮 也	岡 本 友 章	大 野 淳
	加 藤 出	田 村 恒 彦	蒔 田 実	山 崎 勝 洋
	浅 見 敬 子	山 口 徹 正	田 中 伸 周	村 田 利 衛
	建 部 彰 弘	市 野 保 己	丸 石 博	中 村 ゆ 里 子
	齋 藤 良 太 郎	谷 田 部 和 彦	木 村 博 美	井 上 弘
	今 川 啓 一	近 藤 重 和	池 谷 正 成	大 澤 明 美
	古 城 資 久	小 野 賢 二	園 山 和 夫	中 山 俊 行
	田 中 徹	知 念 か お る	出 口 弘 之	田 邊 哲 人
	城 門 政 文	前 川 恵	上 杉 晃 央	布 村 幸 彦
	茂 野 直 久	生 島 典 明	大 沢 陽 子	谷 藤 節 雄
	熊 谷 幸 一	千 葉 玲 佳	奥 山 雅 信	酒 井 祐 一
	藤 田 知 巳	北 條 俊 明	田 子 昌 之	新 井 彰
	山 崎 成 夫	塩 見 清 仁	田 名 部 高 雄	井 出 仁
	今 西 博 一	中 村 宏 平	松 本 智 広	森 山 喜 博
	南 部 則 雄	福 永 秀 樹	高 橋 繁 浩	山 本 健 次
	増 田 和 伯	猪 飼 敏 之	山 本 誠 三	松 本 恭 幸

船田 一彦	奥田 晃	横尾 英治	小西 慎太郎
近藤 一幸	堂本 ひさ美	河村 祐一	渡邊 浩三
田中 稔	馬越 祐希	青木 章泰	城戸 英敏
藤本 武	小柳 勝彦	辛木 秀子	宮成 康蔵
藤本 格	岩元 幸成	平良 朝治	藤原 正樹
大河原 嘉朗	川上 隆弘	佐藤 廣子	奈良 隆
小菅 司	宇津木 妙子	菊 幸一	小林 久美
寺澤 正孝	山口 純子	武部 新	野 中厚
金城 泰邦	赤松 健	増子 宏	矢野 和彦
茂里 肇	浅野 敦行	有村 治子	上野 賢一郎
大岡 敏孝	嘉田 由紀子	北野 裕子	小寺 裕雄
こやり 隆史	斎藤 アレックス	武村 展英	宮本 和宏
目片 信悟	村井 泰彦	北村 嘉英	小椋 正清
伊藤 定勉	草野 聖地	杉浦 和人	永浜 明子
有森 裕子	鈴木 大地	宮本 恒靖	深澤 祐二
坂田 東一	三須 和泰	仲間 達也	川合 俊一
藤田 直志	三屋 裕子	富山 英明	馬場 益弘
砂岡 良治	金丸 恭文	安道 光二	河田 正也
豊田 章男	千 玄 室	中村 真一	牧島 かれん
村井 満	永谷 喜一郎	真砂 威	土田 雅人
町田 幸男	大野 正次	世耕 弘成	笹川 善弘
番匠 幸一郎	久保 素子	丹羽 秀樹	岩城 光英
寶 馨	荒川 裕生	小谷 知也	達増 拓也
鶴田 有司	吉村 美栄子	北村 清士	大井川 和彦
福田 富一	遠藤 祐司	大野 元裕	熊谷 俊人
山本 博	岡田 伸浩	花角 英世	新田 八朗
馳 浩	杉本 達治	高野 剛	阿部 守一
田口 義隆	中谷 多加二	大村 秀章	伊藤 歳恭
西脇 隆俊	高橋 知史	齋藤 元彦	池田 誠也
宮崎 泉	林 昭男	丸山 達也	越宗 孝昌
苅田 知英	村岡 嗣政	後藤田 正純	槙田 實
大塚 岩男	服部 誠太郎	山口 祥義	大石 賢吾
甲斐 隆博	麻生 益直	日隈 俊郎	塙田 康一
玉城 デニ一			

参

与

糸井 圭子
井狩 辰也

大杉 住子
今江 政彦

赤井 康彦
岩崎 和也

有村 國俊
小河 文人

小川 泰江	奥村 芳正	海東 英和	加藤 誠一
河井 昭成	川島 隆二	河村 浩史	桐田 真人
九里 学	桑野 仁	駒井 千代	佐口 佳恵
重田 剛	柴田 栄一	柴田 清行	清水 鉄次
清水 ひとみ	白井 幸則	周防 清二	菅沼 利紀
田中 英樹	田中 誠	田中 松太郎	谷 成 隆
谷口 典隆	富波 義明	中川 雅史	中沢 啓子
中山 和行	野田 武宏	節木 三千代	本田 秀樹
村上 元庸	木沢 成人	森重 重則	東 勝
岸本 織江	土井 真一	窪田 知子	野村 早苗
塚本 晃弘	森 和之	園田 三恵	松田 千春
東郷 寛彦	中村 守	中村 達也	山田 忠利
奥山 光一	岡田 晓人	中田 佳恵	伊吹 信人
白井 稔	藤原 久美子	正木 隆義	保田 誠
小林 雅史	池内 久晃	原 陽一	北川 純二
佐藤 健司	田島 一成	浅見 宣義	小西 理
橋川 渉	森中 高史	竹村 健	岩永 裕貴
櫻本 直樹	松浦 加代子	今城 克啓	角田 航也
堀江 和博	西田 秀治	有村 国知	寺本 純二
久保 久良	藤田 善久	甲津 和寿	堤 清司
高橋 祥二郎	市田 良夫	藤堂 寛	野村 昌弘
熊倉 正志	涌井 努	岸 智昭	武田 英明
山本 博一	寺村 義伸	金澤 博文	山本 順
杉原 真也	竹林 幸祥	山田 貴司	上西 保
一圓 泰成	石井 太	川戸 良幸	田畑 太郎
高橋 健太郎	草野 とし子	三木 恒治	市川 忠穂
上村 照代	富長 弘宣	佐野 智哉	太田 千恵子
赤井 弘和	大西 孝雄	崎山 美智子	
委員長	山本 浩		
副委員長	岩田 史昭	田中 秀和	辻 瞳 弘
総務委員	松永 敬子	稻垣 公雄	笠野 英弘
	菅原 哲朗	田崎 博道	松田 基子
	山澤 文裕	吉田 崇	出崎 和夫
	熊谷 利彦	佐橋 誠	田内 慎也
	江橋 千晴	加藤 弘和	小澤 大樹
	青木 克憲	安井 和治	西島 義典

委 員	平 野 了	高 橋 聖 一	吉 村 政 弘	若 月 等
	松 本 康 夫	福 土 幸 洋	栗 原 崇	細 野 光 史
	渡 邁 圭 太 郎	佐 久 間 裕 司	品 田 奥 義	濱 野 勉
	寺 澤 淳	黒 川 重 男	舟 喜 信 生	高 野 修
	中 梶 秀 則	安 藤 正 美	加 藤 憲 二	宮 川 良 輔
	鈴 木 章 広	川 口 巍	和 田 潔	岡 泉 茂
	田 口 大 祐	平 井 宏 治	岸 川 剛 之	西 原 斗 司 男
	菅 原 正 幸	高 橋 昇	長 南 哲 生	衛 藤 敬 輔
	渡 辺 久 雄	三 井 千 壽	鈴 木 信 吾	山 中 博 史
	井 本 亘	関 根 明 子	中 山 二 三 男	越 前 浩 司
	吉 田 由 美 子	杉 本 好 二	東 野 真 理 子	川 口 雅 三
	金 子 和 裕	野 口 友 里	品 治 恵 子	富 澤 佑 也
	政 岡 航 大	坊 百 花	小 河 原 百 映	田 口 雅 紀
	寺 垣 佑 介	田 中 遥 大	宇 高 章 広	近 藤 潤
	南 野 芳 広	池 本 佳 子	横 江 弘 昭	沼 波 輝
	門 久 仁 裕	清 水 直 子	高 井 和 紀	見 田 茂 紀
	加 藤 雄 樹	鈴 木 敦	瀬 谷 尚 男	大 貫 大 輔
	太 田 真 美	高 野 正 規	岩 楚 直 史	深 谷 祐 紀
	金 田 貴 人	新 保 賀	戒 田 由 香 里	児 玉 晶 香
	村 松 達 也	井 澤 克 行	林 剛 史	稻 葉 晴 伸
	杉 浦 美 紀	藤 田 隆 司	曾 我 学	木 原 哲 也
	高 橋 健 二	吉 村 宗 浩	中 嶋 純 也	前 田 康 博
	松 本 守 正	松 本 綾 子	田 口 新 也	河 口 英 史
	久 次 米 和 成	高 田 孝 行	辻 岡 英 幸	前 田 義 朗
	笠 井 康 行	尾 鶯 一 成	松 山 度 良	濱 本 昌 宏
	吉 野 賢 一 郎	横 山 美 和	山 元 尚 史	宮 城 直 人
	高 野 瑞 洋	遠 藤 信 哉	千 葉 雅 也	菅 間 裕 晃
	須 藤 勇 司	角 田 真 司	柄 澤 宏 之	竹 内 延 和
	東 瀬 義 人	酒 井 雅 洋	碓 井 稔	武 田 知 已
	井 上 哲	今 後 元 彦	沼 田 守 弘	田 部 長 右 衛 門
	竹 内 俊 勝	松 井 守	吉 岡 直 彦	刈 谷 好 孝
	寺 崎 雅 已	荒 木 健 治	平 江 公 一	黒 木 淳 一 郎
	渡 嘉 敷 通 之	綾 部 吉 也		

競技会役員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

名 誉 会 長	佐 藤 健 司	藤 原 健 二	伊 藤 義 樹
会 長	村 井 満	伊 藤 張 二	鈴 木 勇 治
副 会 長	朝 倉 康 善	山 森 祐 子	幡 谷 定 俊
副 顧 問	川 口 淳	新 木 敬 司	遠 藤 隆
	伊 藤 新	鈴 木 隆 一	坂 上 昭
	森 田 昇	新 木 敬 司	中 嶋 光 司
	兒 嶋 昇	近 藤 勇 司	杉 山 忠 国
	荒 井 和 人	堂 故 茂	田 中 忠 安
	杉 山 敏 充	山 田 順 一 郎	石 田 忠 太
	田 中 田 鶴 子	錢 谷 欽 治	中 川 茂
	石 田 真 敏	福 浜 隆 宏	森 田 治
	中 川 智 彦	平 岡 英 雄	宮 島 潔
	中 村 時 広	松 井 智 治	相 澤 久
	里 脇 清 隆	木 村 洋 一 郎	島 崎 輝
	藤 本 滋	新 里 登	浜 奥 修 利
参 与	細 川 俊 行	細 川 力 男	奥 村 功
	乘 野 靖 七	青 山 三 四 郎	改 田 正 德
	改 田 勝 彦	笠 谷 洋 佑	草 川 弘
	草 川 肇	幸 光 正 祓	杉 浦 知 久
	杉 浦 智 子	竹 内 照 夫	田 中 幸
	田 中 康 博	谷 祐 治	寺 田 児
	寺 谷 吉 寛	中 川 哲 也	八 田 慶
	林 ま り	原 田 優 太	日 墾 慈
	福 永 英 晶	船 本 力	森 脇 謙 一
	田 村 靖 二	周 防 美 智 子	関 理 子
	國 松 睦 生	北 潤 弘 康	内 川 直 樹
	内 田 一 成	川 島 英 和	中 村 由 紀 子
	菊 池 真 宏	岡 嶋 一 郎	三 國 昌 克
	小 島 浩 幸	南 堀 弘	弓 坂 則 行
	高 野 早 人	團 初 太 郎	安 西 将 也
	中 山 敦 生	野 々 口 義 信	河 本 英 典
	津 田 新 三	松 尾 房 郎	前 田 康 一
	荒 谷 善 夫	奥 村 芳 正	神 野 佳 樹
	渡 辺 一 生	二 宮 康 人	こ や り 隆 史

田 濃 良 和	石 井 智	久 保 洋 司	西 田 元	
米 田 博 文	岸 智 昭	田 矢 隆 一	人 見 和 宏	
杉 原 真 也	田 畑 太 郎	大 森 聖 一	八 木 正 樹	
大 西 延 明	北 川 有 紀	田 中 勉	金 子 博 美	
前 川 賢 慈	花 房 房 子	藤 上 良 信	濱 久 美 雄	
谷 英 明	中 沢 啓 子	桑 野 仁	河 嶋 四 郎	
委 員 長	大 野 淳			
副 委 員 長	大 塩 純	森 豊 幸		
委 員	齊 藤 篤 司	中 村 忠 男	岡 井 信 太 郎	村 上 隆 三
	村 井 健 郎	米 田 将 翳	北 橋 進	村 山 弘 晃
	小 梶 隆 司	山 田 悟 史	高 山 裕 行	大 岡 正 典
	内 藤 真 仁	相 井 隆 寿	早 川 悅 宏	吉 森 貴 規
	酒 井 良 之	谷 口 浩 一	川 井 亮 喜	葛 川 修
	上 田 晋 也	今 井 啓 貴	小 田 知 則	杉 江 寿 彦
	駒 井 久 夫	益 田 吉 基	吉 田 聰	打 谷 桂 子

競技役員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

レフェリー	岩城 圭一
デビュティーレフェリー (総務部長)	森 豊幸
総務副部長	大野 淳 小田 隆司 村井 健郎 岡井 信太郎
	村上 隆三
総務主任	徳重 和代
総務副主任	今井 美紀
総務委員	杉尾 伸子 山本 清美 中村 知子 入山 千代子 富岡 祐子 森 由美子 中野 久代 亀本 とし子 村井 佳奈恵 大山 康子 望月 美寿寿 横井 裕子 高田 麻里 沢田 真紀
デビュティーレフェリー (競技審判部長)	渡邊 伸也
競技審判副部長	大和 高成 早川 悅宏
競技主任	高山 裕行
競技委員	松居 文彦 木谷 美枝 川分 基徳 松村 政幸 梶谷 明美 東野 昌代 川崎 順子
総合得点集計委員長	齋藤 篤司
総合得点集計委員	中村 忠男 保科 正浩
進行主任	米田 将嗣
進行委員	吉森 貴規 小山 定寛 北村 洋介 久郷 剛基
記録主任	友永 恵子
記録副主任	平居 直人
記録委員	社納 佳美 中村 昌子 陸川 恵 山崎 範子 北村 和士 藤岡 大樹 北條 祐隆
放送主任	西村 昌士
放送委員	中出 菜月 長谷川 美那 吉森 加奈 芝崎 深雪 澤井 祐太
会場主任	相井 隆寿
会場委員	谷 建太朗 斎藤 純子 原 里江 松田 佳世 青山 愛子 爲房 友佳子 吉田 沙樹 東村 真理 向 恵美 廣瀬 美香
式典主任	楳 恵子
報道主任	北村 英仁

報道委員	木村 雅一	中川 あかり		
シャトル主任	田村 友一			
シャトル係	西田 開威 河原田 直美	藤野 明美 野木 秀樹	山本 淳子 湯浅 賢一	岩朝 砂恵子
掲示主任	二井家 清香			
掲示委員	小柳 あい 松ヶ枝 美晴 藤本 岬	中本 かおり 河合 真紀子 南 かおる	児玉 千明 船川 美紀 四谷 友紀	竹村 かおり 松原 真由美
招集主任	宮園 加愛			
招集委員	村北 瓦 鈴木 華織 丸岡 綾子 梅原 舞 飯田 敦樹 佐野 充	岸部 あつみ 内川 厳志 小島 雅子 橋本 恭平 中江 悅子 藤原 玲奈	竹之内 奈都子 大澤 由香 清水 亮一 藤田 卓也 篠田 亜希子 橋本 真理子	畠山 亜也加 森 ちあき 鍋嶋 将之 前川 ひろ美 橋本 真理子
主審主任	杉江 寿彦			
主審副主任	青山 好子	山田 紀子		
主 審	阿部 順 多田 達矢 富山 育學 原 正人 山口 律子 増田 幸子 渡邊 大樹 佐藤 恵美子 久原 寿之 田野岡 賢 山下 直也 石川 亮子 南里 由美子 松岡 良英 玉久保 政巳 山根 健治 水野 智子 西川 茂美	伊藤 知行 森田 昌代 坂本 和也 新井 博幸 木谷 雅子 大谷 留美 森原 義博 荒牧 奈美子 原 賢一 尾知 晴大 田原 秀典 米倉 恵里 大森 真紀 天野 治 吉岡 和美 吉田 直斗 川口 有里 大辻子 了二	袖山 夏樹 水舟 一郎 松田 大輝 川上 成彦 中川 敬子 鈴木 英昭 保科 真紀江 佐倉 和明 荻野 佳宏 戸崎 義 田原 順子 福田 美絵 西川 浩 栗井 直子 丸草 智明 浦島 申次 中平 彩香 七里 真尚	小林 裕樹 鍋島 弘之 原 文俊 千葉 毅 加瀬 恵 茂田 公基 福田 栄記 鈴木 高弘 武藤 芳紀 森 直義 百野 郁子 大和 伶 上田 昇 吉村 祥吾 堀田 真佑 早 香代 寺田 雅規 谷口 浩一

井上 知香	林 雅 弘	上田 真康	内林 拓
水谷 貴一	深 井 侑	疊谷 康一	谷口 啓子
藤本 耕治	南 田 寛		
線審主任			
線審副主任			
線審			
福本 祐司	尾形 広大	永田 優輔	熊木 和幸
西本 江莉加	葛川 星斗	宮村 新奈	奥村 奈未
堤 愛花	松井 大輔	勝 洋子	原井 聰史
小澤 彩知	樺栄 祥子	稻葉 勇	遠藤 彰
磯田 智行	森本 夏輝	渡邊 大智	入口 大樹
吉富 景陽	喜 多 亮	富森 俊貴	馬籠 楓
土田 琴未	吉 成 悠	村田 寛知	喜納 鈴
喜納 幹	畠 有 紗	猪野 祐大	加藤 悠人
川井 亮喜	川井 由美子	井上 晋作	岡本 のぞみ
矢部 恭章	伊崎 広志	竹村 一真	石川 彩
奥村 理恵	横間 浩	広部 和成	広部 有美
川崎 知美	山下 あゆ子	奥 典久	中島 純子
金澤 利昭	脇阪 美紀子	藤本 剛史	小川 建一
坂手 俊哉	岡本 一晃	佐野 優奈	田部 淳史
佐々木 百合	大澤 早知子	丹原 優滋	鈴木 奈緒美
前田 秀之	飯田 哲朗	井口 基	酒井 浩子
花田 正喜	前田 航規	今井 啓貴	西岡 紘平
辻 正和	真下 ゆき乃	五島 彩夏	五島 朝子
村上 潤子	東村 圭二	林 智也	山名 義則
今村 敬太	花澤 誠	松山 亜紀	富永 久仁子
古川 悅子	鷺村 康子	山岸 美代	吉井 千絵
島田 祥子	鍋島 沙知	井上 十志子	将野 綾
由田 麻美	山 多 恵	宮田 和代	臼井 恵美子
河瀬 ゆかり	佐 伯 愛	浜田 華	松下 淳子
城野 麻里	小林 恵里	池田 真帆	大川 弘美
大堀 佳子	中西 広美	長谷川 由紀子	曾我 純子
中島 知子	田岸 幸子	岩井 典子	西村 恵子
佐野 真理	小野寺 久美子	平井 亜希	矢野 礼子
奥富 美子	堤 優子	福田 香織	加藤 佐代子
中川 里美	田中 亜季	渡 良子	富樫 友美

乳原 純子	野口 弘子	多賀 玲	伏木 春奈
塙 治 惠	佐治 曜子	山中 和夫	内藤 真仁
山本 凌平	三國 和	善積 隆都	明石 恵太
辻川 心結	宅和 俊輔	井手上 淳哉	岡村 飛路
大山 一樹	古西 葵衣	東 玲 美	藤堂 悠菜
原田 そよか	安福 万澄	笹岡 由莉	平 来 喜
加藤 瑛之	山田 健太	池淵 百恵	浦 島 快
佐藤 玄己	天野 遥	加藤 優弥	藤原 疾風
谷村 暖忠	伊藤 壮平	中谷 伊吹	高本 夏菜
神谷 風汰	古閑 大瑠	植木 遥都	貴堂 瑠唯
飯星 誠啓	古川 香月		

練習会場主任

上田 晋也

練習会場委員

道分 元樹	安本 匡志	北川 穂	藤居 巧
山中 久之	西 人 生	廣松 賢哉	白土 博之
福井 容示	上坂 昌也	今村 直貴	伊藤 敦
大友 陸人	松井 愛美	北村 昌也	中玉利 千晶
小幡 未来	南 恭 平	篠田 優治	相井 亜弥
中村 光宏	清水 千恵	田淵 ともみ	杉山 亜希子
池田 和美	田井 孝子	井 上 昇	福田 奈美
益田 吉基	葛 野 直	本郷 寿美	勝山 直子
桂田 依子			

競技補助員

2025年7月31日現在

(順不同)

学校法人純美禮学園滋賀短期大学附属高等学校

滋賀県立彦根翔西館高等学校

学校法人松風学園彦根総合高等学校

滋賀県立能登川高等学校

競技会係員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実施本部職員一同

競技会補助員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市ボランティア一同

大会実施要項

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローリング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ (26競技)

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウェルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカロム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレー ボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技 (1競技)

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技 (15市、4町：計19市町)

会期	会場地
2025年9月28日（日） ～10月8日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年9月6日（土） ～9月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年9月21日（日） ～9月25日（木） 〔5日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技 (7市：計7市町)

会期	会場地
2025年8月23日（土） ～9月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストレーションスポーツ (13市、1町：計14市町)

会期	会場地
2025年4月12日（土） ～9月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025年1月1日から2025年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

〔注〕 上記(ウ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

〔注〕 a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

〔注〕 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
 - b 結婚または離婚に係る者
 - c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
〔注〕 aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
 - d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
 - e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
 - f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。
- オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。
- カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。
- キ 選手、監督ならびに本部役員帶同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポーツ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。
- ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
 - (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
 - (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。
- ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

〔注〕 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していかなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別および各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締切日	競技
2025年 8月20日(水) 【12競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025年 9月4日(木) 【27競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（観察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区分	負担金
少年の種別に参加する選手	3,000円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6,000円

[注] 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025年9月5日(金)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 観察員

- (1) 観察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の観察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関する取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いについて以下のとおり対応するものとする。

（1）個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

（2）肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は1人1競技に限る。

(4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、観察員ならびにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

(3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に問わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手でJOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手でJOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2) - ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

（ア） 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

（イ） 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていないとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

＜例＞ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度(小学校は2015年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていないとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)～(3)（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

（ア） 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

（イ） 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていないとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

- ＜例＞ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度(小学校は2028年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実施要項

1 期 日 2025年9月28日（日）から10月1日（水）まで（4日間）

種 別	9月28日（日）	9月29日（月）	9月30日（火）	10月1日（水）
成年男子	1回戦	2回戦	準々決勝・準決勝	3位決定戦・決勝
成年女子		1回戦	準々決勝・準決勝	3位決定戦・決勝
少年男子		1回戦	準々決勝・準決勝	3位決定戦・決勝
少年女子	1・2回戦	3回戦	準々決勝・準決勝	3位決定戦・決勝

2 会 場 大津市 滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計(人)
成年男子	1	3	32	128	444
成年女子	1	3	16	64	
少年男子	1	3	16	64	
少年女子	1	3	47	188	

※ 成年選手は監督を兼任することができる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 2025年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- (2) 各種別とも1複2単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち2試合を得た方を勝ちとし、勝敗決定後の試合は打ち切る。また、3位決定戦を行う。
- (3) 組合せは、公益財団法人日本バドミントン協会指名のレフェリー（競技役員長）もしくは、デピュティーレフェリー（競技審判部長）の指示及び公益財団法人日本スポーツ協会国スポーツ委員の立会いの下、主管団体役員との間で厳正に執り行う。

5 予選方法

ブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。（少年女子は全都道府県が参加）

ブロック大会区分及び選出チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	成年女子	少年男子
北海道	北海道	1	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	4	2	2
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	6	2	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	2	2
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	1	1
近畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	2	2
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	2	2
四国	香川、徳島、愛媛、高知	2	1	1

九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	6	2	2
開 催 県	滋賀	1	1	1
	計	32	16	16

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるところによる。

- (1) 少年種別に参加できる選手は、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。
- (2) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認バドミントンコーチ1、公認バドミントンコーチ2、公認バドミントンコーチ3、公認バドミントンコーチ4の有資格者であることとする。
- (3) 参加選手は、全期間出場できるものとする。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第1位から第8位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

- (1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子	成年女子	各種別とも1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点の競技得点を与える。
成年女子	成年男子	
少年男子	少年女子	
少年女子		

- (2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第1位から第5位（4チーム）までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025年9月4日（木）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手変更は、疾病、傷害、一親等内の親族の弔事などの特別な事情の場合のみ認めるものとし、その場合は、下記のア、イ、ウの事務局宛に文書で届け出なければならない。疾病、傷害などによる変更の場合は医師の診断書の添付が必要となる。また、監督変更については正当な理由がある場合は認められるが、選手変更と同様に下記のア、イ、

ウの事務局宛に文書で届けなければならない。その場合、監督交代の理由書の添付が必要となる。ただし、いずれの文書の提出も監督会議開催前までとする。

ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

公益財団法人日本バドミントン協会

TEL 03-6434-5141 FAX 03-6434-7715

イ 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)

TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836

MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

ウ 〒520-0805 滋賀県大津市石場10番53号

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

(大津市国スポ・障スポ大会局 大会競技課)

TEL 077-528-0310・0320 FAX 077-522-7766

MAIL koku-spo.badminton@city.otsu.lg.jp

なお、イ、ウについては原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

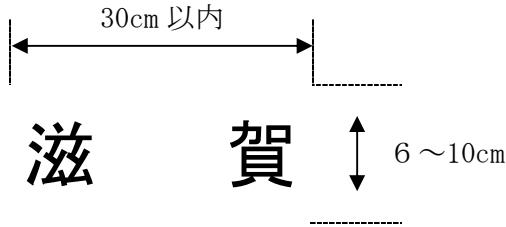
10 参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦6～10cm、横30cm以内の範囲に都道府県名を明示すること。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる文字色の漢字とする。

また、ゼッケンを使用する場合には、縦15cm、横30cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。

なお、文字列の大きさについては公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。

(例)



11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025年9月8日（月）午後1時

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL 03-6434-5141 FAX 03-6434-7715

(2) 監督会議

日 時 2025年9月27日（土）午後2時30分

場 所 滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）

〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町779番地

TEL 077-545-0108 FAX 077-572-5376

(3) 審判会議

日 時 2025 年 9 月 27 日 (土) 午後 1 時
場 所 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)
〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町 779 番地
TEL 077-545-0108 FAX 077-572-5376

(4) 開始式

日 時 2025 年 9 月 27 日 (土) 午後 4 時
場 所 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)
〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町 779 番地
TEL 077-545-0108 FAX 077-572-5376

(5) 表彰式

日 時 2025 年 10 月 1 日 (水) 午後 2 時 30 分
場 所 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)
〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町 779 番地
TEL 077-545-0108 FAX 077-572-5376

開始式次第

1 日 程 2025年9月27日（土） 16時00分

2 場 所 滋賀ダイハツアリーナ メインアリーナ

3 式次第

順序	次第	予定時刻
	招集放送	15：45
	出席者・関係役員着席開始	15：50
	式典準備・着席完了	15：55
1	開式通告	16：00
2	競技会開始宣言	16：01
3	国旗・諸旗儀礼	16：04
4	大会会長トロフィー返還	16：06
5	競技会会長あいさつ	16：08
6	大津市長歓迎のことば	16：11
7	滋賀県バドミントン協会会長歓迎のことば	16：14
8	来賓紹介	16：17
9	感謝状贈呈	16：20
10	閉式通告	16：30
	選手団解散	16：31

表彰式次第

1 日 程 2025年10月1日（水） 14時30分

2 場 所 滋賀ダイハツアリーナ メインアリーナ

3 式次第

順序	次第	予定時刻
	競技（決勝戦）終了	13：30
	選手団集合・関係役員整列完了	14：25
1	開式通告	14：30
2	成績発表	14：31
3	表彰	14：34
4	競技会会長あいさつ	15：09
5	歓送のことば	15：12
6	競技会終了宣言	15：15
7	閉式通告	15：16
	選手団・関係役員解散	15：17

競技日程

審判会議	9月27日（土）13時00分	滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）
監督会議	9月27日（土）14時30分	滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）
開始式	9月27日（土）16時00分	滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）

	9月28日（日）	9月29日（月）	9月30日（火）	10月1日（水）	
滋賀 ダイハツ アリーナ （滋賀アリーナ）	9:00				
	9:30				
	10:00	少年女子（G） 1回戦（10試合）	少年男子（B） 1回戦（8試合） 成年女子（W） 1回戦（2試合） 9:30～	少年男子（B） 準々決勝（4試合） 成年女子（W） 準々決勝（4試合） 9:30～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 3位決定戦 10:00～
	10:30	9:30～			
	11:00	少年女子（G） 1回戦（5試合） 成年男子（M） 1回戦（5試合） 10:45～			
	11:30		成年女子（W） 1回戦（6試合） 成年男子（M） 2回戦（4試合） 11:00～		成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 決勝戦 11:00～
	12:00			少年女子（G） 準々決勝（4試合） 成年男子（M） 準々決勝（4試合） 11:15～	
	12:30	成年男子（M） 1回戦（10試合）			
	13:00	12:00～	成年男子（M） 2回戦（4試合） 少年女子（G） 3回戦（6試合） 13:30～		
	13:30	成年男子（M） 1回戦（1試合） 少年女子（G） 2回戦（9試合） 13:15～		少年男子（B） 準決勝（2試合） 成年女子（W） 準決勝（2試合） 13:00～	
	14:00				
	14:30	少年女子（G） 2回戦（7試合） 14:30～	少年女子（G） 3回戦（2試合） 15:00～		
	15:00				
	15:30			少年女子（G） 準決勝（2試合） 成年男子（M） 準決勝（2試合） 14:45～	
	16:00				
	16:30				
	17:00				
	17:30				
	18:00				

表彰式	10月1日（水）14時30分	滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）
-----	----------------	--------------------

※ Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

タイムテーブル

競技会場		滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）									
月 日	コート番号 開始時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
第1日目 9月28日 (日)	9:30	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8	G 9	G 10
	10:45	G11~15 M 1~5									
	12:00	M 6~M15									
	13:15	M16 G16~G24									
	14:30	G25~G31									
第2日目 9月29日 (月)	9:30	B 1	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6	B 7	B 8	W 1	W 2
	11:00	W 3~W 8 M17~M20									
	13:30	M21~M24 G32~G37									
	15:00	G38~G39									
第3日目 9月30日 (火)	9:30	B 9	B 10	B 11	B 12		W 9	W 10	W 11	W 12	
	11:15	M25~M28					G40~G43				
	13:00	B13~B14					W13~W14				
	14:45	M29~M30					G44~G45				
第4日目 10月1日 (水)	10:00	<u>M31</u>		<u>W15</u>				<u>B15</u>		<u>G46</u>	
	11:00		M32		W16		B16		G47		
	14:30	表彰式									

* Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

* は決勝戦、_____は3位決定戦

* 第1日目、第2日目、第3日目の2段目以降については流し込み方式で進行します。

バドミントン競技 組合せ表

【 少 年 女 子 (G) 】

都道府県名	9月28日		9月29日	9月30日		10月1日	9月30日		9月29日	9月28日		都道府県名
	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	3回戦	2回戦	1回戦	
山 口 県 1												24 青 森 県
広 島 県 2	1 9:30		16 13:15									25 石 川 県
京 都 府 3				32 13:30								26 静 岡 県
茨 城 県 4			17 13:15									27 島 根 県
秋 田 県 5					40 11:15							28 山 形 県
沖 縄 県 6												29 富 山 県
徳 島 県 7	2 9:30		18 13:15									30 高 知 県
奈 良 県 8					33 13:30							31 愛 知 県
岩 手 県 9	3 9:30											32 鳥 取 県
長 野 県 10		19 13:15										33 鹿 児 島 県
福 島 県 11												34 神 奈 川 県
佐 賀 県 12												35 香 川 県
北 海 道 13	4 9:30		20 13:15									36 福 井 県
新 潟 県 14					34 13:30							37 福 岡 県
東 京 都 15	5 9:30											38 岡 山 県
熊 本 県 16		21 13:15										39 山 梨 県
宮 崎 県 17												40 長 崎 県
三 重 県 18					41 11:15							41 柄 木 県
愛 媛 県 19	6 9:30		22 13:15									42 兵 庫 県
和 歌 山 県 20												43 大 分 県
群 馬 県 21	7 9:30				35 13:30							44 宮 城 県
滋 賀 県 22		23 13:15										45 千 葉 県
大 阪 府 23												46 岐 阜 県
							3位決定戦					47 埼 玉 県
							46 10:00					

バドミントン競技 組合せ表

【 成 年 男 子 (M) 】

都道府県名	9月28日	9月29日	9月30日		10月1日	9月30日		9月29日	9月28日	都道府県名
	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦	
東京都 1										滋賀県 17
宮城县 2	10:45		17 11:00					9 12:00		福岡県 18
長崎県 3	2 10:45							21 13:30		熊本県 19
新潟県 4			25 11:15					10 12:00	20 北海道	
石川県 5	3 10:45							27 11:15	21 山梨県	
青森県 6			18 11:00					11 12:00	22 山口県	
岡山县 7	4 10:45							22 13:30	23 秋田県	
奈良県 8					29 14:45	30 14:45	32 11:00	12 12:00	24 佐賀県	
大阪府 9	5 10:45							13 12:00	25 富山県	
栃木県 10			19 11:00					23 13:30	26 千葉県	
宮崎県 11	6 12:00							14 12:00	27 福島県	
愛知県 12					26 11:15			28 11:15	28 神奈川県	
鳥取県 13	7 12:00							15 12:00	29 京都府	
鹿児島県 14			20 11:00					24 13:30	30 愛媛県	
香川県 15	8 12:00							16 13:15	31 兵庫県	
岐阜県 16									32 埼玉県	
					3位決定戦		31 10:00			

バドミントン競技 組合せ表

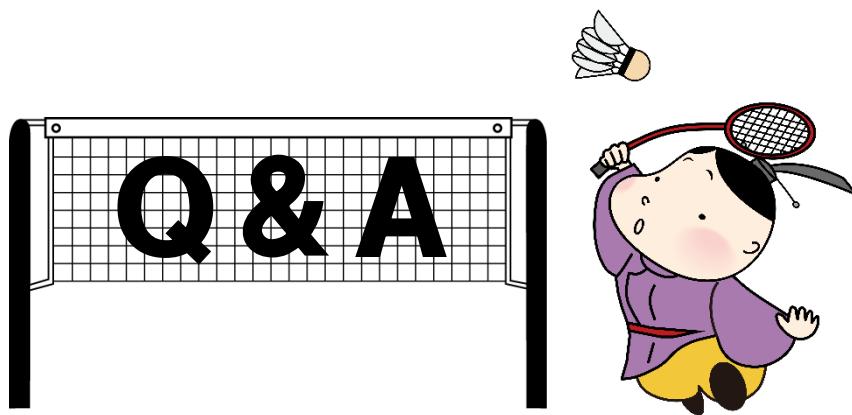
【 成年女子 (W) 】

都道府県名	9月29日		9月30日		10月1日		9月30日		9月29日		都道府県名
	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦	準々決勝	1回戦	準々決勝	
熊本県 1	1 9:30								9 11:00	岐阜県	
北海道 2		9 9:30					10 秋田県				
長崎県 3	2 9:30						11 9:30	滋賀県			
富山县 4	13 13:00				16 11:00		12 9:30	香川県			
島根県 5	3 11:00			14 13:00			13 7 11:00	茨城県			
石川県 6	10 9:30				12 11:00	14 京都市					
東京都 7	4 11:00						15 8 11:00	兵庫県			
山口県 8				3位決定戦			16 10:00	福島県			

【 少年男子 (B) 】

都道府県名	9月29日		9月30日		10月1日		9月30日		9月29日		都道府県名
	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦	準々決勝	1回戦	準々決勝	
福島県 1	1 9:30						9 5 9:30	大阪府			
茨城县 2		9 9:30					10 11 9:30	愛知県			
鳥取県 3	2 9:30						11 6 9:30	新潟県			
滋賀県 4	13 13:00				16 11:00		12 11:00	長崎県			
富山县 5	3 9:30			14 13:00			13 7 9:30	青森県			
愛媛県 6	10 9:30				12 9:30	14 兵庫県					
北海道 7	4 9:30						15 8 9:30	岡山県			
福岡県 8				3位決定戦			16 10:00	埼玉県			

バドミントンを楽しく見るために



一般的な質問

Q. バドミントンとは、どんなスポーツですか？

A. ネットを挟んでラケットでシャトル（羽根）を打ち合うスポーツです。決められた相手コート内にシャトルを落とすか、相手がフォルト（反則）を取られた場合、点数が入ります。

試合には、1対1のシングルス（単）と2対2のダブルス（複）があり、ダブルスには、男性同士、女性同士でペアを組むものと、男女でペアを組むミックスダブルスがあります。

競技としてのバドミントンは、緩急を使い分ける様々なショットやフットワーク、対戦相手との駆け引き、ダブルスの場合、ペアとのコンビネーションなど多岐にわたる技術を必要とし、パワーと瞬発力とともに持久力の優劣も勝負を左右する、複雑で非常に激しいスポーツです。

Q. シャトル（羽根）とはどんなものですか？

A. コルクの台にガチョウまたはアヒルの羽根を16枚取り付けています。重さは5g程しかありません。

Q. ラケットの重さや長さはどれくらいですか？

A. 規定ではフレームの全長が68cm以内、幅23cm以内と決められています。重さは80～86gが主流で、材質はカーボンやチタン等が使われています

プレーヤーはそれぞれ自分に合わせてラケットを選んだり、ストリング（ガット）の張りの強さを変えたりして使っています。

Q. 打たれた時のシャトルのスピードはどれ位ですか？

A. 全ての球技の中で打球の初速が最も速いことで、ギネスブックに認定されています。下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の初速は400kmを超える（世界記録はなんと493km（2013年7月28日ギネス世界記録認定））にもなり、その速度は瞬間的には新幹線より速いスピードです。

Q. 新幹線より速いシャトルをどうして打ち返すことができるのですか？

A. ラケットから離れる時の速度は速いのですが、シャトルは羽根がついているので空気抵抗を受けやすいため、打球がネットを越えてある距離になると減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツであります。また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q. どうすれば得点（ポイント）になりますか？

A. 試合は3ゲームを行い（1ゲーム21点）、2ゲーム先取した方が勝ちとなります。

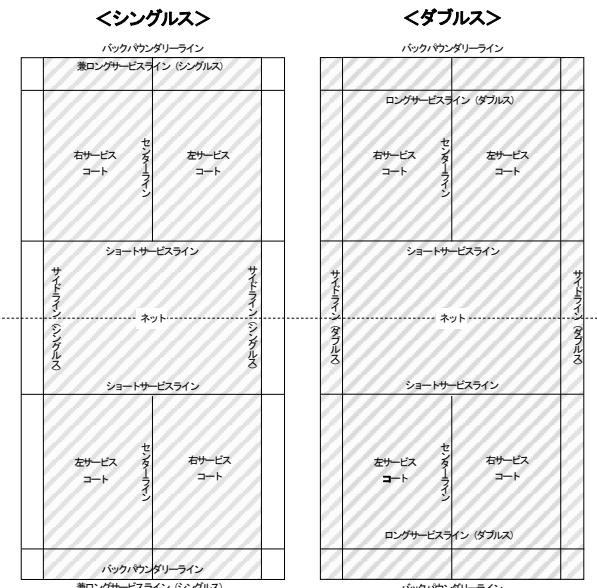
また、両者が20点になった場合は、その後最初に2点差をつけた方、もしくは先に30点に達した方が勝ちとなります。

Q. ラリーポイント制とは何ですか？

A. サービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝ったときには得点になるのがラリーポイント制です。

Q. シングルスとダブルスでコートの使い方は違うのですか？

A. 下の図のとおりロングサービスラインやサイドラインの位置が異なります。斜線で塗りつぶしている部分が使用する範囲になります。



国スポに特化した質問

Q. 種別はどのようなものがありますか？

A. 成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の4種別があります。

Q. 参加都道府県はどうやって決めるのですか？

A. ブロック大会を通過したチームが国スポに出席できます。

第79回国民スポーツ大会では少年女子は47都道府県全てが出席できます。

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子は全国を9ブロックに分けて、各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県が出席でき、成年女子と少年男子は開催県（滋賀県）を含む16チーム、成年男子は開催県（滋賀県）を含む32チームの参加となります。

Q. 試合はどのようにして行いますか？

A. すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。

試合は、ダブルス（複）－シングルス（単）－シングルス（単）の順で行い、先に2勝したチームが勝ちとなります。なお、勝敗決定後のゲームは行いません。

Q. 天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか？

A. 得点には、競技得点と参加得点があります。競技得点は、各種別ともに1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与えるものです。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えられません。

男女総合成績を競う天皇杯の対象種別は全種別となり、女子総合成績を競う皇后杯の対象種別は成年女子・少年女子になります。

【二次元コード】

○スコア配信（BIRD SCORE）

<https://www.birdscore.live/web/shiga2025-badminton/>



都道府県別参加人数一覧表

ブロツク	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計	ブロツク	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計
北海道	北海道	4	3	3	3	3	16	近畿	滋賀県	4	3	3	3	3	16
東北	青森県	3	3		3	3	12		京都府	3	3	3		3	12
	岩手県	1				3	4		大阪府	3	3		3	3	12
	宮城县	2	3			3	8		兵庫県	4	3	3	3	3	16
	秋田県	3	3	3		3	12		奈良県	2	3			3	8
	山形県	1				3	4		和歌山县	1				3	4
	福島県	4	3	3	3	3	16		鳥取県	3	3		3	3	12
関東	茨城県	3		3	3	3	12	中国	島根県	2		3		3	8
	栃木県	2	3			3	8		岡山県	3	3		3	3	12
	群馬県	1				3	4		広島県	1				3	4
	埼玉県	3	3		3	3	12		山口県	3	3	3		3	12
	千葉県	2	3			3	8	四国	香川県	3	3	3		3	12
	東京都	3	3	3		3	12		徳島県	1				3	4
	神奈川県	2	3			3	8		愛媛県	3	3		3	3	12
	山梨県	2	3			3	8		高知県	1				3	4
北信越	新潟県	3	3		3	3	12	九州	福岡県	3	3		3	3	12
	長野県	1				3	4		佐賀県	2	3			3	8
	富山县	4	3	3	3	3	16		長崎県	4	3	3	3	3	16
	石川県	3	3	3		3	12		熊本県	3	3	3		3	12
	福井県	1				3	4		大分県	1				3	4
東海	静岡県	1				3	4		宮崎県	2	3			3	8
	愛知県	3	3		3	3	12		鹿児島県	2	3			3	8
	三重県	1				3	4		沖縄県	1				3	4
	岐阜県	3	3	3		3	12	総計		111	96	48	48	141	444

都道府県別出場監督・選手一覧 【少年女子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名	都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	竹内 雅明	北翔大学(教)	栃木県	監督	遠藤 敦史	作新学院高等学校(教)
	選手	藤川 千愛	北海道旭川商業高等学校		選手	山下 真依	作新学院高等学校
		山本 希乃花	北海道旭川商業高等学校		選手	川村 令奈	作新学院高等学校
		豊嶋 彩衣心	北海道旭川商業高等学校			鈴木 彩乃	作新学院高等学校
青森県	監督	藤田 真人	青森山田高等学校(教)	群馬県	監督	加賀美 隼人	高崎商科大学附属高等学校(教)
	選手	東谷 悠妃	青森山田高等学校		選手	相川 和葉	高崎商科大学附属高等学校
		浅野 真央	青森山田高等学校		選手	磯野 友香	高崎商科大学附属高等学校
		徳永 結妃	青森山田高等学校			関口 心櫻	伊勢崎市立あづま中学校
岩手県	監督	渡邊 清一	岩手県立花北青雲高等学校(教)	埼玉県	監督	滝 内 亮	埼玉栄高等学校(教)
	選手	菅原 光	岩手県立花北青雲高等学校		選手	阿部 果凜	埼玉栄高等学校
		麥倉 花	岩手県立花北青雲高等学校		選手	河村 実里	埼玉栄高等学校
		寺林 琴実	岩手県立花北青雲高等学校			星野 結衣	埼玉栄高等学校
宮城県	監督	崎原 太陽	聖ウルスラ学院英智高等学校(教)	千葉県	監督	有川 友理奈	西武台千葉高校(教)
	選手	千葉 瑠愛	常盤木学園高等学校		選手	田中 ひよ莉	西武台千葉高校
		木村 ひなの	聖ウルスラ学院英智高等学校		選手	生井 穂乃果	西武台千葉高校
		山辺 彩由里	聖ウルスラ学院英智高等学校			沼田 妹子	西武台千葉高校
秋田県	監督	原田 利雄	株式会社北都銀行	東京都	監督	関根 忠	淑徳巣鴨高等学校(教)
	選手	児玉 莉愛	秋田県立能代松陽高等学校		選手	高橋 乃愛	淑徳巣鴨高等学校
		佐藤 俐緒	秋田県立秋田北高等学校		選手	江頭 柚風	淑徳巣鴨高等学校
		鈴木 由藍	秋田県立秋田北高等学校			佐藤 帆志乃	淑徳巣鴨高等学校
山形県	監督	丸山 勝美	鶴岡市民健康スポーツクラブ	神奈川県	監督	齋藤 嘉貴	川崎市立川崎総合科学高等学校(教)
	選手	上野 優花	新庄東高等学校		選手	井澤 璃音	川崎市立川崎総合科学高等学校
		池田 花保	山形県立致道館高等学校		選手	飯島 横	川崎市立川崎総合科学高等学校
		鈴木 蘭音	新庄東高等学校			高野 真衣	横浜高等学校
福島県	監督	今野 菜摘	福島県立ふたば未来学園高等学校(教)	山梨県	監督	菅澤 伸哉	甲斐清和高等学校(教)
	選手	畠山 想来	福島県立ふたば未来学園高等学校		選手	阿部 唯愛来	甲斐清和高等学校
		山北 莉緒	福島県立ふたば未来学園高等学校		選手	竹本 月渚	甲斐清和高等学校
		芳賀 凜歩	福島県立ふたば未来学園高等学校			東里 桜	山梨学院高等学校
茨城県	監督	羽生 美恵	茨城県バドミントン協会	新潟県	監督	吉田 亞土夢	新潟青陵高等学校(教)
	選手	樋口 丹里	常総学院高等学校		選手	渡邊 暖花	新潟青陵高等学校
		富田 桃愛	常総学院高等学校		選手	木下 梨	開志国際高等学校
		高玉 幸佳	常総学院高等学校			瀬野 ひばり	開志国際高等学校

都道府県別出場監督・選手一覧 【少年女子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名	都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
長野県	監督	須賀 健太郎	文化学園長野高等学校(教)	滋賀県	監督	鈴木 草麻生	滋賀短期大学附属高等学校(職)
	選手	光沢 真桜	文化学園長野高等学校		選手	山田 唯葉	滋賀短期大学附属高等学校
		青木 りりか	蘇南高等学校		選手	天野 祐希	滋賀短期大学附属高等学校
		下島 結羽	蘇南高等学校		選手	辻村 心菜	滋賀県立守山高等学校
富山県	監督	河合 昭博	富山国際大学付属高等学校(職)	京都府	監督	川下 剛士	京都成章高等学校(教)
	選手	森 さくら	富山国際大学付属高等学校		選手	岡本 芽	京都明徳高等学校
		若田 このみ	富山国際大学付属高等学校		選手	小山 心愛	京都明徳高等学校
		安村 紗来	富山国際大学付属高等学校		選手	大平 彩詠	京都明徳高等学校
石川県	監督	車 浩明	石川県立金沢向陽高等学校(教)	大阪府	監督	藤原 英佳	四天王寺高等学校(教)
	選手	榮代 結子	石川県立金沢向陽高等学校		選手	神尾 朱理	四天王寺高等学校
		澤村 実玖	石川県立金沢向陽高等学校		選手	米本 宙那	四天王寺高等学校
		浦上 蒼彩	金沢学院大学附属高等学校		選手	小林 茉央	四天王寺高等学校
福井県	監督	大石 宏	福井工業大学附属福井高等学校(教)	兵庫県	監督	友金 美佐	彩星工科高等学校(職)
	選手	浦野 唯愛	福井工業大学附属福井高等学校		選手	玉置 由芽	親和女子高等学校
		寺尾 美咲	福井工業大学附属福井高等学校		選手	磯元 らら	親和女子高等学校
		山田 奈南	福井工業大学附属福井高等学校		選手	山本 纏	親和女子高等学校
静岡県	監督	河野 洋平	星陵高等学校(教)	奈良県	監督	堀 嵩	奈良大学附属高等学校(教)
	選手	佐々木 美羽	加藤学園高等学校		選手	野口 望心子	奈良大学附属高等学校
		勝又 咲陽	加藤学園高等学校		選手	加納 早柚美	奈良大学附属高等学校
		村井 恵未	星陵高等学校		選手	園田 愛絆	奈良大学附属高等学校
愛知県	監督	菅野 俊助	名古屋経済大学市邨高等学校(教)	和歌山県	監督	黒瀬 尊敏	和歌山県立耐久高等学校(教)
	選手	伊藤 菜央加	名古屋経済大学市邨高等学校		選手	松野 妃葵	和歌山県立耐久高等学校
		稻垣 凜	名古屋経済大学市邨高等学校		選手	尾崎 千花	和歌山県立耐久高等学校
		馬場 こころ	岡崎城西高等学校		選手	岡田 琴羽	和歌山県立耐久高等学校
三重県	監督	槙野 貴行	皇學館高等学校(職)	鳥取県	監督	清水 隆志	鳥取敬愛高等学校(教)
	選手	稻吉 礼有	皇學館高等学校		選手	森本 新絆	鳥取敬愛高等学校
		世古口 来海	皇學館高等学校		選手	米山 結葵	鳥取敬愛高等学校
		相原 乙芭	四日市市立南中学校		選手	山崎 南実	米子北高等学校
岐阜県	監督	黒田 匠馬	岐阜県立岐阜商業高等学校(教)	島根県	監督	金山 紀幸	島根県立松江商業高等学校(教)
	選手	中山 舞悠香	岐阜県立岐阜商業高等学校		選手	桑垣 舞	島根県立松江商業高等学校
		井上 梨海	岐阜県立岐阜商業高等学校		選手	山本 茉奈	松徳学院中学校
		松永 紗南	池田町立池田中学校		選手	川上 紗矢	島根県立松江商業高等学校

都道府県別出場監督・選手一覧 【少年女子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名	都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
岡山県	監督	尾崎 勝久	倉敷中央高等学校（教）	佐賀県	監督	多田 美紀	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校（教）
	選手	石井 空	倉敷中央高等学校		選手	高田 亜美	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
		北村 菜帆	倉敷中央高等学校			木下 柚葵	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
		金森 愛里紗	倉敷中央高等学校			金岡 薫	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
広島県	監督	冨永 克典	安田女子中学高等学校（教）	長崎県	監督	茂見 祥平	向陽高等学校（教）
	選手	小松木 望愛	安田女子高等学校		選手	藤原 菜桜	向陽高等学校
		板野 瑠衣	安田女子高等学校			前山 夏里奈	向陽高等学校
		山下 梢	安田女子高等学校			藤本 華菜	長崎県立諫早商業高等学校
山口県	監督	重信 萌夏	山口県立柳井商工高等学校（教）	熊本県	監督	永松 勇一郎	玉名女子高等学校（教）
	選手	松本 紗季	山口県立柳井商工高等学校		選手	塩山 あさひ	玉名女子高等学校
		白川 菜結	山口県立柳井商工高等学校			小松 桃子	玉名女子高等学校
		鎌田 虹花	山口県立柳井商工高等学校			上村 藍梨	玉名女子高等学校
香川県	監督	山本 敏雄	県立高松商業高等学校（教）	大分県	監督	高椋 規照	大分県立由布高等学校（教）
	選手	山川 唯奈	県立高松商業高等学校		選手	松浦 かえで	大分県立大分西高等学校
		間島 ちひろ	県立高松商業高等学校			中尾 美結	大分県立大分西高等学校
		西山 心音	県立高松商業高等学校			人見 美琴	大分県立大分西高等学校
徳島県	監督	平岡 友望	鳴門病院	宮崎県	監督	長友 翔	県立宮崎工業高等学校（教）
	選手	青木 愛歩	城東高等学校		選手	安藤 七音	聖心ウルスラ学園高等学校
		舛田 結愛	城東高等学校			緒方 豊七	聖心ウルスラ学園高等学校
		赤澤 凜虹	城東高等学校			城村 沙都	聖心ウルスラ学園高等学校
愛媛県	監督	久枝 ゆい	新田高等学校（教）	鹿児島県	監督	寺師 駿	鹿児島市立鹿児島女子高等学校（教）
	選手	佐々木 弥都	新田高等学校		選手	迫田 若奈	鹿児島市立鹿児島女子高等学校
		橋田 七海	新田高等学校			草道 彩羽	鹿児島市立鹿児島女子高等学校
		篠原 楓恋	新田高等学校			伊藤 亜衣佳	鹿児島育英館中学・高等学校
高知県	監督	松田 壮平	ワールドスポーツ（株）	沖縄県	監督	宮良 耕太郎	沖縄電力
	選手	安岡 七瀬	土佐女子高等学校		選手	島袋 麟	那霸高校
		吳田 真央	土佐女子高等学校			多和田 穂乃花	普天間高校
		西森 夕華	土佐女子高等学校			平良 優奈	琉球JBC
福岡県	監督	吉森 司	九州国際大学（職）				
	選手	津山 心	九州国際大学付属高等学校				
		福原 安祐美	福岡常葉高等学校				
		斎藤 凪沙	福岡常葉高等学校				

都道府県別出場監督・選手一覧 【成年男子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名	都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	松 本 章	北海道旅客鉄道(株)	東京都	監督	落 合 久 夫	東京都バドミントン協会
	選手	渡 部 大	北海道旅客鉄道(株)		選手	森 口 航士朗	BIPROGY株式会社
		光 島 理 貴	北海道旅客鉄道(株)		選手	谷 岡 大 后	BIPROGY株式会社
		柴 田 拓 実	コンサドーレ		選手	中 静 悠 斗	NTT東日本
青森県	監督	佐 藤 伴 哉	東奥保育・福祉専門学院(教)	神奈川県	監督	鰐 川 朗	日立情報通信エンジニアリング
	選手	三 上 楓	三菱自動車京都		選手	岩 野 晃 也	日立情報通信 エンジニアリング
		角 田 洸 介	敬和学園大学		選手	川 邊 悠 陽	日立情報通信 エンジニアリング
		柳 川 瑠 生	敬和学園大学		選手	松 川 健 大	日立情報通信 エンジニアリング
宮城県	監督	諸 多 大 輔	テルウェル東日本株式会社	山梨県	監督	伊 東 雅 俊	THK(株)
	選手	深 井 俊 植	中央大学		選手	輿 石 涼	東京地下鉄株式会社
		千 葉 倫 也	日本大学		選手	滝 川 亮 太	株式会社ヴァーテックス
		後 藤 拓 人	日本大学		選手	古 屋 樹	旭工芸
秋田県	監督	平 山 政 史	株式会社北都銀行	新潟県	監督	竹 村 祥 吾	白根羽球連盟
	選手	紺 野 智 也	株式会社北都銀行		選手	柴 田 陽 登	ヨネックス新潟
		成 田 行 磐	株式会社北都銀行		選手	武 田 航 太	大同特殊鋼
		甲 谷 望	株式会社北都銀行		選手	佐 々 木 大 樹	敬和学園大学
福島県	監督	二 瓶 良	帝京安積高等学校(教)	富山県	監督	安 村 康 介	トナミ運輸株式会社
	選手	大 畑 龍 平	有限会社ウエンブレー		選手	大 林 拓 真	トナミ運輸株式会社
		仁 平 玖 央	有限会社ウエンブレー		選手	秦 野 陸	トナミ運輸株式会社
		高 橋 功 大	会津オリンパス株式会社		選手	目 崎 駿 太 郎	トナミ運輸株式会社
栃木県	監督	會 澤 真 之 介	(株)ラケットショップ イースト	石川県	監督	長 谷 川 進	(有)ハセガワスポーツ
	選手	大 堀 新	宇都宮南高等学校(教)		選手	浦 隆 斗	石川県立明和特別支援学校(教)
		寺 田 真 也	鹿沼商工高等学校(教)		選手	内 野 陽 太	金沢学院大学(職)
		北 川 史 翔	電通		選手	福 田 祐 弥	ワタキューセイモア(株)
埼玉県	監督	山 田 秀 樹	BIPROGY株式会社	愛知県	監督	小 林 瑛 二 郎	東海興業株式会社
	選手	小 野 寺 雅 之	BIPROGY株式会社		選手	江 藤 佑 太	東海興業株式会社
		遠 藤 彩 斗	NTT東日本株式会社		選手	林 寿 輝 弥	東海興業株式会社
		川 本 拓 真	BIPROGY株式会社		選手	大 関 修 平	大同特殊鋼株式会社
千葉県	監督	川 嶋 太 郎	佐倉市八街市酒々井町消防組合	岐阜県	監督	今 井 彰 宏	株式会社岐阜Bluvic
	選手	齋 藤 謙 太	東京地下鉄株式会社		選手	佐 藤 雄 輝	株式会社丸杉
		安 保 瑠 城	旭工芸		選手	小 川 桂 太	株式会社岐阜Bluvic
		福 田 廉 太	BC千葉		選手	竹 内 宏 気	株式会社岐阜Bluvic

都道府県別出場監督・選手一覧 【成年男子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名	都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
滋賀県	監督	村上俊	滋賀県立彦根翔西館高等学校(教)	香川県	監督	三井秀隆	県立坂出工業高等学校(教)
	選手	西川裕次郎	比叡山高等学校(教)		選手	猪熊心太朗	金沢学院クラブ
		常山幹太	北都銀行		選手	藤井湧真	香川県庁
		藤原圭祐	株式会社ジェイテクト			小畠洸稀	同志社大学
京都府	監督	高木孝一郎	三菱自動車京都	愛媛県	監督	濱中裕太	ラケットショップハマナカ株式会社
	選手	笹井力斗	立命館大学		選手	長谷部伸洋	株式会社アガス・ビー・エム・シー
		常塚光	三菱自動車京都		選手	甲斐聰一郎	株式会社アガス・ビー・エム・シー
		上田康誠	三菱自動車京都		選手	河内達哉	株式会社アガス・ビー・エム・シー
大阪府	監督	井谷和弥	WAKOKAI	福岡県	監督	原田和憲	株式会社ハローライフ
	選手	山下蒼羽	WAKOKAI		選手	武生卓也	株式会社ハローライフ
		佐藤瑠活	明治大学		選手	棚原蓮	トヨタ自動車九州株式会社
		川畠史吹	法政大学		選手	荒木絢	株式会社ACE
兵庫県	監督	川口佳介	三菱電機株式会社	佐賀県	監督	田中賢一	佐賀県立佐賀東高等学校(教)
	選手	戸内佑亮	豊田通商		選手	小野麟太朗	TOTOアクアテクノ株式会社
		友金利玖斗	ヨネックス株式会社		選手	川原怜也	旭工芸株式会社
		小網勇馬	京都産業大学		選手	阿部允耶	立命館大学
奈良県	監督	森田正秀	奈良県立添上高等学校(教)	長崎県	監督	小川量平	鶴鳴学園長崎女子高等学校(教)
	選手	水井響己	龍谷大学		選手	村本竜馬	(株)ジェイテクト
		西前和真	立命館大学		選手	滝口友士	豊田通商(株)
		山田麟	奈良中央郵便局		選手	中島天	金沢学院大学
鳥取県	監督	花本大地	株式会社LIMNO	熊本県	監督	橋本博且	株式会社再春館製薬所
	選手	福原忠宣	米子北高等学校(教)		選手	野田統馬	株式会社日立情報通信エンジニアリング
		林谷理貴	鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課		選手	池端元哉	(株)プロスチール
		花本風軌	敬和学園大学		選手	花田彬	トナミ運輸株式会社
岡山県	監督	中須賀祥雅	岡山市立瀬戸中学校(教)	宮崎県	監督	大島一央	日章学園高等学校(教)
	選手	一井亮太	三菱自動車京都		選手	春成星哉	トヨタ自動車九州(株)
		藤井湧也	JFEプラントエンジ(株)		選手	森田新太郎	綾町役場
		山川碧	JFEプラントエンジ(株)		選手	串間太紀	九州国際大学
山口県	監督	松尾光平	MUセメントサービス(株)	鹿児島県	監督	野久尾英俊	鹿児島県立鶴翔高等学校(教)
	選手	壇隆介	UBE(株)		選手	山元拓摩	旭工芸(株)
		望月健太	UBE(株)		選手	吉松基	トヨタ自動車九州(株)
		永田拓己	立命館大学		選手	阿比留弘平	国立鹿児島工業高等専門学校

都道府県別出場監督・選手一覧 【成年女子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名	都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	村井 秀樹	NTT東日本	滋賀県	監督	酒井 良之	株式会社近江兄弟社
	選手	内山 真希	北海道バーバリアンズ		選手	石橋 麻美子	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
		江見 日和菜	北翔大学		選手	二村 ひとみ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
		小原 陽夏	明治大学			松川 華実	龍谷大学
秋田県	監督	野呂 誠幸	シャトルガーデン	京都府	監督	村尾 勉	同志社女子大学(職)
	選手	舛木 さくら	株式会社北都銀行		選手	小林 優花	龍谷大学
		永渕 妃香	株式会社北都銀行		選手	金廣 真季	龍谷大学
		小松 ゆい	株式会社北都銀行			向井 温菜	同志社大学
福島県	監督	竹俣 洋平	尚志高等学校(教)	兵庫県	監督	酒井 将之	三菱電機株式会社
	選手	水井 ひらり	NTT東日本株式会社		選手	中島 祐月	三菱電機株式会社
		川田 百華	日本体育大学		選手	平田 健	三菱電機株式会社
		小野 涼奈	ふたば未来学園OG会			朝倉 ひより	三菱電機株式会社
茨城県	監督	磯部 和弘	常総学院高等学校(教)	島根県	監督	丸岡 智子	(株)山陰合同銀行
	選手	杉山 未来	株式会社レゾナック		選手	田部 真唯	(株)山陰合同銀行
		染谷 菜々美	株式会社レゾナック		選手	三輪 音巴	(株)山陰合同銀行
		水井 寿々妃	株式会社レゾナック		選手	秋田 まな	(株)山陰合同銀行
東京都	監督	内村 実	有限会社 岩手屋	山口県	監督	小宮山 元	(株)ACT SAIKYO
	選手	木村 百伽	ヨネックス株式会社		選手	大澤 陽奈	(株)ACT SAIKYO
		砂川 温香	BIPROGY株式会社		選手	水津 愛美	(株)ACT SAIKYO
		須藤 海妃	ヨネックス株式会社		選手	金廣 美希	(株)再春館製薬所
富山県	監督	荒木 純	トナミ運輸株式会社	香川県	監督	小泉 秀登	株式会社百十四銀行
	選手	向井 仁那	株式会社七十七銀行		選手	清家 菜々子	株式会社百十四銀行
		木林 千耀	東海興業株式会社		選手	十亀 加奈江	株式会社百十四銀行
		中出 すみれ	龍谷大学		選手	片山 琴美	株式会社百十四銀行
石川県	監督	気谷 篤人	金沢学院大学(職)	長崎県	監督	西山 勝也	長崎県立諫早商業高等学校(教)
	選手	釜谷 知佳	石川県立いしかわ特別支援学校(教)		選手	小方 里羽	無所属
		吉田 茜夕美	金沢学院大学		選手	小川 星実	プロテイグローバルリンクス(株)
		上田 未咲	金沢学院大学		選手	工藤 葉那	立命館大学
岐阜県	監督	吉富 桂子	株式会社岐阜Bluvic	熊本県	監督	池田 雄一	株式会社再春館製薬所
	選手	岩戸 和音	株式会社岐阜Bluvic		選手	松山 奈未	株式会社再春館製薬所
		小西 春七	株式会社岐阜Bluvic		選手	郡司 莉子	株式会社再春館製薬所
		廣田 彩花	株式会社岐阜Bluvic		選手	栗原 あかり	株式会社再春館製薬所

都道府県別出場監督・選手一覧 【少年男子】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名	都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	吉田 仁	コンサドーレ	滋賀県	監督	仲尾 修一	比叡山高等学校(教)
	選手	木村 友翔	蒂広大谷高等学校		選手	安田 翔	比叡山高等学校
		竹村 恵斗	蒂広大谷高等学校			藤木 蓮	比叡山高等学校
		小川 鳩菜	蒂広大谷高等学校			長束 翔太	比叡山高等学校
青森県	監督	戸祭 潤	青森山田高等学校(教)	大阪府	監督	明石 浩和	東大阪大学柏原高等学校(教)
	選手	門井 翔	青森山田高等学校		選手	西尾 寿輝	東大阪大学柏原高等学校
		古川 湧己	青森山田高等学校			中西 來樹	東大阪大学柏原高等学校
		田上 幹太	青森県立浪岡高等学校			中村 優希	東大阪大学柏原高等学校
福島県	監督	本多 裕樹	福島県立ふたば未来学園高等学校(教)	兵庫県	監督	友金 幸雄	彩星工科高等学校(教)
	選手	増田 遥	福島県立ふたば未来学園高等学校			大塚 悠翔	彩星工科高等学校
		宮下 翔伍	福島県立ふたば未来学園高等学校		選手	黒田 紘右	彩星工科高等学校
		山城 政人	福島県立ふたば未来学園高等学校			前田 晴生	彩星工科高等学校
茨城県	監督	小野 満哲	茗渓学園中学校高等学校(教)	鳥取県	監督	杉川 友和	米子北高等学校(教)
	選手	三木 鳩斗	茗渓学園高等学校		選手	上田 大和	米子北高等学校
		山寄 耀介	茗渓学園高等学校			坪井 悠祐	米子北高等学校
		坪井 太志	常総学院高等学校			三隅 蓮生	米子北高等学校
埼玉県	監督	大屋 貴司	埼玉栄高等学校(教)	岡山県	監督	関 啓之	倉敷翠松高等学校(教)
	選手	山崎 琉生	埼玉栄高等学校		選手	戸板 伊吹	倉敷翠松高等学校
		五十田 敦晴	埼玉栄高等学校			窪田 常尚	倉敷翠松高等学校
		山脇 弘獎	埼玉栄高等学校			大塚 哲平	水島工業高等学校
新潟県	監督	米田 健司	北越高等学校(教)	愛媛県	監督	徳永 睦	新田高等学校(教)
	選手	遠藤 史哉	北越高等学校		選手	野中 翔斗	新田高等学校
		矢田 紗	北越高等学校			福本 桜輝	新田高等学校
		橋 邦斗	北越高等学校			牛尾 涼生	新田高等学校
富山県	監督	中田 真琴	高岡第一高等学校(教)	福岡県	監督	原口 拓巳	自由ヶ丘高等学校(教)
	選手	中谷 勇仁	高岡第一高等学校		選手	松永 稔平	自由ヶ丘高等学校
		米 鳩斗	高岡第一高等学校			原田 泰地	自由ヶ丘高等学校
		奥 真優	高岡第一高等学校			岩見 健介	九州国際大学付属高等学校
愛知県	監督	稻垣 翔悟	名古屋経済大学市邨高等学校(教)	長崎県	監督	片岡 直茂	諫早市立北諫早中学校(教)
	選手	渡邊 楓雅	名古屋経済大学市邨高等学校		選手	草ノ瀬 悠生	瓊浦高等学校
		中村 琉音	名古屋経済大学市邨高等学校			根本 舜生	瓊浦高等学校
		櫻 邦斗	名古屋経済大学市邨高等学校			渡邊 奏介	瓊浦高等学校

競技成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県に第1位から第8位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子	成年女子	各種別とも1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点の競技得点を与える。
成年女子		
少年男子	少年女子	
少年女子		

2 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表

都道府県名	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合成績（天皇杯）				女子総合成績（皇后杯）			
	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位
1 北海道																
2 青森県																
3 岩手県																
4 宮城県																
5 秋田県																
6 山形県																
7 福島県																
8 茨城県																
9 栃木県																
10 群馬県																
11 埼玉県																
12 千葉県																
13 東京都																
14 神奈川県																
15 山梨県																
16 新潟県																
17 長野県																
18 富山県																
19 石川県																
20 福井県																
21 静岡県																
22 愛知県																
23 三重県																
24 岐阜県																
25 滋賀県																
26 京都府																
27 大阪府																
28 兵庫県																
29 奈良県																
30 和歌山県																
31 鳥取県																
32 島根県																
33 岡山県																
34 広島県																
35 山口県																
36 香川県																
37 徳島県																
38 愛媛県																
39 高知県																
40 福岡県																
41 佐賀県																
42 長崎県																
43 熊本県																
44 大分県																
45 宮崎県																
46 鹿児島県																
47 沖縄県																

過去の成績一覧表

第4回 昭和24年 東京都YMC A (個人戦オープン)

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子 単	東京 広田 敏秀	北海道 佐藤 保	東京 藤井 光男
一般男子 複	東京 広田 敏秀 藤井 光男	神奈川 岡淳一 相馬 万吉	北海道 佐藤 保 村上 三郎
一般女子 単	神奈川 吉田 とよ子	愛知 吉沢 千里	神奈川 遠藤 文子
一般女子 複	神奈川 吉田 とよ子 遠藤 文子	神奈川 小林 歌子 中村 多喜	愛知 吉沢 千里 後藤 範子

第5回 昭和25年 愛知県 白鷗小学校・東桜小学校(総合優勝 神奈川県)

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	東京 広田 敏秀 藤井 光男 小宮 淳宏 山田 康久	神奈川 岡淳一 相馬 万直 大谷 本武 松本 道道	北海道 佐藤 保 村上 三英 西林 俊郎 葛若 守
一般女子	神奈川 吉田 とよ子 遠藤 文子 小林 歌子 荒川 とみ子	愛知 水谷 鈴子 堀保子 伊与田 綾子 伊与田 照子	北海道 伊藤 紗代 安藤 代栄 佐藤 賀子 片岡 信子
高校男子	北海道 石田 裕二 神山 周二 大塚 健二 島中 貞夫	愛知 石渡 大野 川邊 竹口	神奈川 岡村 道明 松井 弘喬 江藤 実一

第6回 昭和26年 広島県 広大東雲分校・同大附属小学校(総合優勝 愛知県)

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	東京 広田 敏秀 岡道 明 山田 康久	岐阜 玉越 忠治 大竹 健司 下野 和彦	愛知 藤井 光男 渡辺 成雄 蟹和男
一般女子	愛知 堀江 綾子 保田 久子 伊与田 照子	石川 登 悅子 貝原 まさえ 高田 八重子	北海道 伊藤 紗代 片岡 京子 栗原 澄子
高校男子	愛知 服部 興治 野口 勇 立松 健市	石川 東 正直 西 貞夫 諸江 秀一	岐阜 後藤 裕八郎 林 金太郎 田中 正則

第7回 昭和27年 宮城県 東北大学体育館（総合優勝 神奈川県）

第8回 昭和28年 香川県 善通寺体育館（総合優勝 神奈川県）

順位 種別	1位				2位				3位					
一般男子	神奈川	広 佐 川 杉	田 治 崎 田	敏 順 博	秀 豊 久 子	藤 諸 相 萩	井 江 川 原	光 秀 十 誠	男 一 郎 誠	岐 阜	大 松 丹 林	竹 岡 波	健 龍 哲 金	司 三 昭 太 郎
一般女子	神奈川	遠 小 荒 小	藤 林 川 野	文 歌 と 智	子 子 み 子	岡 梅 阿 荒	元 津 部 井	弘 貴 悦 重	子 江 子 子	石 川	貝 登 島 町	原 谷 駒	ま え 悦 須	え 子 子 磨 子 ヤ ス
高校男子	北海道	片 加 長 谷 井	石 藤 川 栄	兼 正 龍 啓	敏 則 男 充	江 辻 半 岡	尻 田 外 崎	桂 貞 喜 健	三 三 男 一	神奈川	越 花 折 内	川 岡 井 藤	牧 利 弘	啓 夫 彦 明
高校女子	宮 城	西 谷 佐 松	堀 津 藤 木	富 京 範 幸	美 子 子 子	大 秋 真	西 山 鍋	誉 武 春	一 子 子	神奈川	大 藤 龍 波	川 田 野 多	良 光 美 代 清	

第9回 昭和29年 北海道 札幌市(総合優勝 愛知県)

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	玉越忠治 岐阜大竹健司 松岡龍三	野口勇 愛知服部興治 稻熊貞夫	清水正 富山釣谷友一 荒木亥久男
一般女子	西堀富美子 宮城佐藤範子 谷津京子	登悦子 石川貝原まさえ 瀧谷信	保田久子 愛知伊与田照子 堀江綾子
高校男子	豊場建 愛知御友眞正 伊藤雅昭	西村嘉彦 石川江尻桂三 島谷昇	宮沢健一 神奈川伊豆内宏 渡辺潔
高校女子	武田信子 福島伊藤桂子 尾形亨子	大森嘉美 岡山友野文子 三宅基子	大沢節子 愛知大室久美子 大竹泰子

第10回 昭和30年 神奈川県 神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝 神奈川県）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	広田敏秀 神奈川 杉田博 岡道明	大竹健司 岐阜 松岡龍三 酒井弘	鈴谷友一 富山 荒木亥久男 高木満
一般女子	武田信子 福島 伊藤桂子	荒川とみ子 神奈川 小林歌子 大川良子	梅津貴久江 北海道 阿部悦子 下山重子
高校男子	永井栄一 東京 北島克英 小野岡順一	北方匡 石川 関功 米谷外喜彦	生田仁紀 山形 板垣隆房 羽角至
高校女子	友野文子 岡山 権田節子 三宅基子	佐々木功子 宮城 三津節 菅井静子	永田豊子 香川 藤田純代 藤村怜子

第11回 昭和31年 兵庫県 神戸YMCA・生田中学校（総合優勝 岡山県）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	杉田博 神奈川 佐藤芳朗 佐藤昌久	上田益弘 大阪 増木節男 武村俊平	毛利清志 岡山 前田俊一 石原利道
一般女子	西堀富美子 宮城 小野寺静江 佐藤範子	友野文子 岡山 権田節子 光本政子	西尾貞子 兵庫 加藤洋子 金森奎子
高校男子	小宮好雄 神奈川 中村智 齊藤裕之	四ツ柳邦夫 北海道 小田桐正徳 岩本竜一	板垣隆房 山形 山岸重孝 鎌水勝志
高校女子	横井キヌ工 香川 井上桂子 山下衣子	小林桂子 岡山 戸田寿子 根岸純	三浦節 宮城 沼倉英子 三浦与志子

第12回 昭和32年 静岡県 富士市体育館・富士高講堂（総合優勝 神奈川県）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	佐藤芳朗 神奈川 杉田博 新倉和男	望月文雄 東京 力石潔 鈴木峻三	島中貞夫 北海道 星野嘉雄 神山周二
一般女子	横井キヌ工 香川 井上桂子 山下衣子	権田節子 岡山 光本政子 小林桂子	大川良子 神奈川 小林歌子 石川英子
高校男子	小宮好雄 神奈川 中村智 鈴木敏勝	酒井明夫 石川 村田和男 堀知章	平野隆 島根 森脇英裕 富田豊
高校女子	田島外茂子 香川 山下久子 宮川ツヤ子	掛橋良子 静岡 西村弘子 佐野禎子	有田順子 石川 長田悠喜子 松田富美子

第13回 昭和33年 富山県 高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝 東京都）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	片石兼敏 東京 越川啓 花岡牧夫	杉田博 神奈川 佐藤芳朗 佐藤昌久	高谷芳弘 大阪 上田益弘 松王清志
一般女子	横井キヌ工 香川 山下久子 田島外茂子	小林歌子 神奈川 大川良子 二見文子	権田節子 岡山 光本政子 小林桂子
高校男子	金森義弘 山形 板垣義憲 小林賢	鈴木幸春 東京 宮永武司 貝戸肇	森晃一 奈良榎高嗣 中川安正
高校女子	藤本文子 香川 有木とみ子 福本和子	高島洋子 富山 中島玲子 梅野尾桂子	山崎紀久子 石川 川節子 竹多光子

第14回 昭和34年 東京都 足立区体育館（総合優勝 神奈川県）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	佐藤芳朗 神奈川 佐藤昌久 佐藤口潔	新田正治 石川 酒井明夫 村田和男	松王清志 大阪 小松康博 小松
一般女子	大川良子 神奈川 二見文子 椎野みや子	横井キヌ工 香川 横山下久子 宮川ツヤ子	大坪愛子 富山 高島洋子 島島洋玲子
教員男子	杉田博 神奈川 山本剛治 石塚義	佐藤茂雄 大阪 宝来敏夫 北野敬四郎	平田登志郎 東京 市柳和直 柳田規
高校男子	渡部紘一 宮城 後藤忠広 甲斐昭宏	龍瀬彦彥 北海道 竹中将晃 梅木聰	山本洋彦 神奈川 岡崎恵三 小坂拓充
高校女子	藤本文子 香川 有木とみ子 福本和子	伊沢利子 静岡 志村セツ子 石原待子	梅野尾桂子 富山 橘酒井 酒井美智子

第15回 昭和35年 熊本県 菊池市体育館（総合優勝 富山県）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	永井栄一 東京 北島克英 貝戸肇	佐藤芳朗 神奈川 遠石啓治 藤石勤	荒木亥久男 富山 扇大徳 大澤三幸雄
一般女子	高島洋子 富山 中島玲子 梅野尾桂子	脇坂千子 秋田 木村政満 横山山子	野村志津江 静岡 伊志利子 村セツ子
教員男子	北方匡 石川 河原山晴夫 茂藤寛	杉田博 神奈川 山本塚義 石塚義	宮越竜三 秋田 脇坂安隆 鈴木司
高校男子	岡崎恵三 神奈川 小坂拓充 長谷川敏彦	佐藤勝彦 山形 出高橋勇清 藤沢橋一	阿部孚淳 新潟 笠原洋祐 伊藤洋祐
高校女子	橘美智子 富山 酒井美智子 平田敦子	横井文子 香川 林文信 森久子	高橋奉子 秋田 石澤七子 長崎文子

第16回 昭和36年 秋田県 象潟町中学校体育館（総合優勝 秋田県）

順位 種別	1位			2位			3位		
一般男子	東京	片永星	石井忠	兼一	敏	藤岡遠	芳惠啓	朗三治	房男任
一般女子	富山	梅野橘酒	尾井	桂美智子	子	木村	政滿奉	子	ツヤ子
教員男子	石川	北方河原山江	河原山	匡晴	夫桂	杉岡秋	田山捷	田博彦	和文子
高校男子	新潟	大竹安星	竹安	紘武	一司	北海道	中松浦	富潔	喜裕司
高校女子	山形	佐藤小笠原矢口	佐藤	弘詔淳	子	高岡天影	木野山	紀博昭	子
						岡	山	子	藤山門
						天	野	江	綾子
						影	山	昭	モモ子

第17回 昭和37年 岡山県 県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝 東京都、富山県）

順位 種別	1位			2位			3位		
一般男子	東京	星野富井	忠田門	男豊	雄	遠藤木	啓敏	治勝	英雄一
一般女子	香川	福横森	本井久	和文	子	橘酒梅野尾	美智子	子	子
教員男子	石川	北方河原山江	河原山	匡晴	夫桂	杉岡秋	田山捷	田博彦	隆司光
高校男子	新潟	本荒阿	田川野	務治善	男紀	東京須	野田一	征夫	昭勇明
高校女子	富山	橘室河	崎村和	妙光	子	秋田大間	塚門瀬	トシサヨ	淳子
						大	塚門	幸子	代子
						間	瀬	幸子	

第18回 昭和38年 山口県 下関市体育館（総合優勝 新潟県）

順位 種別	1位			2位			3位		
一般男子	愛知	小板垣稻	宮好善	雄憲	雄	東京井宮	門永	鎮武	忠男
一般女子	秋田	横高長	山橋	満奉	子	香川島	横森	外茂文	豊茂
教員男子	石川	北方江	河原山	匡晴	夫桂	神奈川岡秋	田田山	敬三郎捷	吉弘
高校男子	新潟	星裏	野田	義光	夫春	東京閔中	村古	一誠安	敬四郎輝
高校女子	栃木	前松小	沢本	和昭	子千代子	新潟後茂	藤澤竹	和純	明徳守

第19回 昭和39年 新潟県 県立三条高校体育馆 (総合優勝 新潟県)

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	愛知 小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京 永井栄一 宮永武一 堺栄一	石川 新田正治 田下和男 松田力
一般女子	香川 横井文子 田島外茂子 森久子	秋田 横溝子 高橋子 長崎子	岐阜 高天子 木野江子 天后子
教員男子	新潟 渡部紘一 永井司 佐藤俊夫	石川 北方匡夫 河原山晴 江尻桂三	神奈川 杉田田山 岡田敬三郎 秋山捷彦
高校男子	新潟 鈴木正浩 神田和夫 片山毅	奈良 森橋芳夫 木本修一 橋本壁年	富山 野立昭 盛高正 野林博弘
高校女子	栃木 植木夕力子 大島コヨ子 武田初枝	新潟 竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田 佐々木ミ 木川美枝子 中加賀谷ユミ子

第20回 昭和40年 岐阜県 富田学園体育馆 (総合優勝 岐阜県)

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	愛知 小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京 堀井栄一 宮田十文子 上藤六子	香川 東山義昭 牟礼立 牟昭顕
一般女子	岐阜 高木紀子 天野博江 高田康子	香川 横井文子 森加藤子 久和子	新潟 後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川 河原山晴夫 北方匡一 村西一	北海道 杉田茂良 笹森剛志 中嶋弘志	岡山 毛利清志 三柳勝堯 柳宅堯
高校男子	富山 梅野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜 堀幸矩 杉山修 尾閑智則	奈良 真年 河壁村 滝憲公
高校女子	大阪 近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜 高橋葉子 稻葉良子 川本美代子	栃木 上野明美 石崎喜代子 吉田サト子

第21回 昭和41年 大分県 日田林工高校体育馆 (総合優勝 新潟県)

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	愛知 長谷川敏彦 板垣善憲 安沢武司	山梨 岡崎恵三 秋山真三 山上勇	大分 宮田永武 春中大也 武俊一
一般女子	岐阜 高木紀子 天野博江 高田康子	新潟 後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田 橫溝子 高橋子 加賀谷工子
教員男子	北海道 杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	石川 河原山晴夫 北原方一 原栄	岡山 三毛柳勝志 柳利本 柳清堯
高校男子	新潟 本間順次 高橋次宣 奥田良秋	宮城 我妻一郎 市川清利 寒河江一	香川 西西和弘 崎田健忠 小湯田忠庸
高校女子	山形 小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟 本間惠美子 日高悦子 坂薰子	岡山 木口江子 藤博子 佐藤惠民

第22回 昭和42年 埼玉県 越ヶ谷市立体育馆（総合優勝 香川県）

順位 種別	1位			2位			3位		
一般男子	愛知	板垣 安沢 小林	善一 武一 宏	神奈川	島山 遠藤	一平 洋彦 啓治	東京	堺田 上橋	栄十 六平 八
一般女子	香川	有木 横井 本山	とみ子 文子 江真	新潟	五十嵐 後藤 藤藤	明和 操	岐阜	高木 天虫 野賀	紀子 博雅 江子
教員男子	富山	清水 正木 松信	芳史 木山 信之	北海道	杉田 安達 上山	茂良 憔功	宮城	加渡 菊地	茂和 部地 天一 功
高校男子	富山	米田 松島 谷口	田島 島保 寛	奈良	野瀬 小葛 輪	公一 昭博	宮城	門山 間田 木戸	幹哲 夫夫 純一
高校女子	新潟	相澤 金高	マチ子 坂	香川	小竹 森下	千恵子 経清 美	栃木	田枝 印波	美津江 加代子 和波

第23回 昭和43年 福井県 県立勝山合同体育馆（総合優勝 岐阜県）

順位 種別	1位			2位			3位		
一般男子	山梨	岡崎 秋山 田中	恵三 眞男 登	神奈川	島小吉 良渡	一平 悠直	東京	堺西 野関	栄一 一一 征誠
一般女子	岐阜	高木 天野 安藤	紀子 博江 久美子	東京	高橋 野仲	とも子 小夜子 美津江	新潟	五十嵐 後藤 林	明和 邦子 子
教員男子	熊本	南工 藤原	直治 勇健 参身	石川	北方村 西原	匡一 榮一	岡山	毛三柳 利宅	清本 堯
高校男子	富山	二上 草島 布目	敏博 正治 茂	山形	遠藤 田伊 所藤	好男 田光 政臣	岐阜	岩藤 後足 立	昇宏 路守 男
高校女子	大阪	平山 柴崎	泰山 きよ子 弘子	香川	宮武 福本 赤沢	泰子 幸子 ひろ子	新潟	堀竹 川中 大竹	栄美子 礼子 由里子

第24回 昭和44年 長崎県 諫早市体育馆、県立諫早高校体育馆（総合優勝 新潟県）

順位 種別	1位			2位			3位		
一般男子	山梨	窪田 秋山 野田	恵三 眞男 秀応	神奈川	島小渡 辺坂	一平 直人 聖二	東京	堺西 野関	栄一 一一 征誠
一般女子	岐阜	高木 天野 橋高	紀子 博江 千代美	東京	高橋 仲水	とも子 美津江 小夜子	京都	永山 岡崎	井下 三枝子 繁子
教員男子	熊本	西田 工芦	壽明 勇健 参身	岡山	毛三柳	利清 宅本 堯	石川	北原村 西	方匡 一栄
高校男子	新潟	本間 小泉 九原	間原 享司 正敏	群馬	内田 桐渡	通生 台次郎 夫	奈良	菅原 岡山	原田 弘貴 久繁
高校女子	大阪	柴山 高崎 大場	きよ子 弘子 照美	岐阜	及脇 紅谷	川恵 田和 島子	栃木	望石 阿久津	茂子 まさ子

第25回 昭和45年 岩手県 釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝 岩手県）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	山梨 逢田 恵三 秋山 真男 野田 秀応	東京 池田 信孝 梅野尾昌一 木健二	神奈川 小島 一直 渡坂 人二 坂本 聖二
一般女子	新潟 竹中 悅子 相沢 マチ子 藤後 和子	岐阜 高木 紀子 天野 博江 桑原 富士子	栃木 松石 喜代子 望月 しづか
教員男子	岩手 佐々木 彦士 佐々木 邦夫 永沢 和彦	石川 北原 方 原松 栄忠 本匡一	熊本 西工 壽明 芦原 勇健 田藤 参身
高校男子	奈良 翼 康司 竹内 真美 西川 繁美	石川 錢谷 欽治 竹村 勇治 青山 信吾	岩手 高佐 佐吉 佐藤 壮雄 橋藤 吉雄
高校女子	大阪 西秋 真理子 秋本 八代美 秋本 幸子	栃木 小林 敏枝 藤井 幸子 池田 静江	香川 川森 東秀 森田 清美 所 静子

第26回 昭和46年 和歌山県 湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝 新潟県）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 渡辺直人 小島一平 宮川秀樹	山梨 逢田 恵三 秋山真一 岩雄	岐阜 森田 芳夫 河安 満治 田義
一般女子	新潟 鈴木 明美 後藤和子 本間恵美子	神奈川 杉田 良子 味山とも子 秋山陽子	北海道 田村 静子 高今美千子 今喜佐子
教員男子	滋賀 久保田 良昌 藤原健二 上原信二	和歌山 森隆 中西詳 佐藤光伸	熊本 本郷直 南工藤生治 工藤参
高校男子	新潟 土田征雄 鈴木裕 佐野直行	和歌山 山本茂樹 倉岡徹 岡忠成	奈良 西川繁 佐野弘基 中井夫
高校女子	大阪 西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	福島 千葉陽子 宮内すみ子 木村瑞江	岡山 寿美子 平三喜久江 田宅一美

第27回 昭和47年 太陽国体 鹿児島県 南高校体育館（総合優勝 東京都）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 小島一直 渡辺平人 宮川樹	東京 鈴木健二 池田信昌 梅野尾一	山梨 逢田恵三 秋山真一 岩雄
一般女子	東京 湯木博江 竹中悦子 石崎茂子	愛知 橋本香代 池田江子 富居静康	香川 小片千恵子 小西幸代 森清美
教員男子	和歌山 森隆 中西詳 門間幹夫	栃木 別井晃一 木藤信昇 森田昇	石川 北原一進 原長谷川栄 谷川一進
高校男子	奈良 中井基夫 南井義夫 辻敏弘	石川 原敏夫 山谷敏助 下島行男	岐阜 古角悟勝 角後純一 藤田子
高校女子	大阪 秋本幸子 高田幹子 徳田敦子	山形 矢口洋浩 本間浩子 今田真知子	千葉 尚美 平瀬千代 野野子清美

第28回 昭和48年 若潮国体 千葉県 県立茂原高校体育館（総合優勝 東京都）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	関一誠 梅野尾昌 池田信孝	本間順次 松島保寛 谷口寛
一般女子	湯木博江 相沢マチ子 竹中悦子	森川清美 東川秀美 尾美生	天野博江 広沢功子 日比野悦子
教員男子	藤上良英 藤上良信 藤原健二	原一進 長谷川修 和田一	永井司 高井昌三 斎藤和夫
高校男子	西村正美 山村博治 上川之雄	寺田繁 田芳弘 矢部光之 五十嵐弘	池田昭文 松重内 坪内惠利
高校女子	高田幹子 徳田敦子 植野恵美子	山田尚子 平野美千代 瀬野清美	堀田正子 清水礼子 福原友子

第29回 昭和49年 水と緑のまごころ国体 茨城県 石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝 東京都）

順位 種別	1位	2位	3位
一般男子	池田信孝 梅野尾昌 今井茂一 井満	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	松島順次 本間保寛 谷口寛
一般女子	石崎茂子 今田真知子 柴山きよ子	田所静子 山口豊子 川東秀美	田村静子 高野島美千子 藤島百子
教員男子	門間幹夫 武藤隆志 森隆	原一進 長谷川修 高來秀夫	佐藤利昭 関本昌和 大健太郎
高校男子	米山孝二 中島俊彦 加藤信之	塚本良一 小倉久和 村田信博	長谷川博幸 諏訪芳博 中村幸平
高校女子	関根和子 大塚ソノ工 佐藤由喜子	牛田真由美 片山千英子 渡辺幸子	植野恵美子 石川好子 北村寿弥子

第30回 昭和50年 たくましくあすをひらこう みえ国体 三重県 県立松阪高校体育館（総合優勝 石川県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	一般 神奈川 小島一平 宮川秀樹 笠井教行	池田信孝 梅野尾昌 錢谷欽一治	富山 河村博之 今井米和 米澤勉男
	教員 石川 原一進 長谷川和田 和田修	今井勇司 関俊夫 桐生台次郎	宮城 渡部紘一 木戸純治 白岩良治
成年女子	東京 湯木博恵 池田美加 柴山きよ子	川田秀美 東山静子 所口豊子	岡山 石田雅子 三藤田明子 藤原敦子
少年男子	奈良 吉岡伸浩 富田伸浩 島章夫 裕司	宮田森庄吉 酒坂庄直 坂本宏志	宮城 橘光隆 沼澤一夫 穴戸隆夫
少年女子	大阪 植野恵美子 北野寿弥子 石川好子	三重 谷元いく 横野野崎 野崎知花	香川 前川加代子 渋谷茂美 金崎保子

第31回 昭和51年 若楠国体 佐賀県 県立牛津高校体育馆、町立牛津中学校体育馆（総合優勝 石川県）

順位 種別		1位			2位			3位					
成年男子	一般	神奈川	小島 宮川 笠井	一 秀 教	平 樹 行	富山	今 河 米	泉 村 沢	勉 之 男	川 米 堂	相 米 谷	川 正 均	進 隆 均
	教員	石川	原 長谷川 和田	栄 進 修	一	群馬	関 今 桐	俊 井 生	夫 司 台	門 武 山	間 藤	幹 隆 茂	天 志 樹
成年女子	東京	湯木 石崎 今田	博 茂 真知子	恵 子	子	香川	石 田 牛	原 所 田	英 静 真由美	大阪	西 谷 秋	尾 本	真理子 美津代 幸子
少年男子	石川	重山 森坂	成田	生 本	均 昌	滋賀	北 西	橋 山	進 司 武	香川	平 上木	野 原田	勝 彦 敬
少年女子	大阪	石川 平河	好村	久美子	子	新潟	青 藤 佐	木 井 藤	恵 良 友	東京	德 松 永	永 枝 野	順 睦 ふみ子

第32回 昭和52年 あすなろ国体 青森県 浪岡町民体育馆（総合優勝 青森県）

順位 種別		1位			2位			3位					
成年男子	一般	埼玉	尾崎 飯野 土田	幹雄 佳孝 証雄	雄	東京	池田 梅野 錢	信昌 尾谷 欽	孝一 治	神奈川	小島 笠辻	島井 一教	平行 弘敏
	教員	石川	原長谷川 舛田	栄進 吉光	一	群馬	今井 栗桐	勇恒 原生	司夫 台次郎	和歌山	門山 米	間本 山	幹茂 和樹
成年女子	東京	湯木 池田 池田	博美 茂子	恵加子	子	大阪	西谷 秋	尾本	真理子 美津代 幸子	香川	石田 牛	原所 田	英子 子
少年男子	滋賀	西山 矢山	博忠 部和	司司 樹	一	栃木	角田 久根	田光 根	永俊 忠	青森	丹楠 島	藤美 内	勇誠 俊二
少年女子	大阪	平河 原口	久美子 恵美子	子	高知	浜田 寺田	由田 田	理香 圭史	子	青森	葛山 柳	西下沼	明奈 端子

第33回 昭和53年 やまびこ国体 長野県 塩尻市立体育馆（総合優勝 熊本県）

順位 種別		1位			2位			3位					
成年男子	一般	千葉 大場 西村	田所 和博	光男	新潟	棒 鈴	木 山	勇裕 法	川 米	相 米	川 正	進 隆 均	
	教員	石川	長谷川 舛田	進吉 光修	一	群馬	今井 栗岩	勇恒 原崎	裕男	石川	工 稻	藤津 中	勇 参 悟文
成年女子	大阪	谷秋 本東海林	美津代 幸文	子子	福岡	桶丸	本山 山口	百合子 富峰	沼日 江子	栃木	沼日 向野	能山 日向	久裕 藤子
少年男子	熊本	本石 権井	俊憲 浩上	二哲 二章	山形	桜井	五十嵐 須貝	雅人 正英	保科 人弘	滋賀	保横 川嶋	科田 嶋	正悟 浩司
少年女子	新潟	月岡 中斎	岡 藤	広一 優	枝子	栃木	上高海	野田 賀	裕合	大阪	川口 原北	裕田	恵スミ子

第34回 昭和54年 日本のふるさと宮崎国体 宮崎西都市民体育館（総合優勝 熊本県）

順位 種別		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男	小島一平	遠藤好男	藤村敏男	藤村敏正
	教員	大場和博	高橋清	高橋敏	木久原	原健二	原信之
成年女子		織本富之	菅原	今井勇司	滋賀	藤原上坂	藤脇良重
		長谷川進	橋	栗原恒夫			
少年男子		和田修	木智	木智博			
		舛田吉光	智	井原恒夫			
少年女子		日山裕子	東海林文子	香川	平山田高子	井高子	佐代子
		日向野藤枝	西明子	葛西惠子	前川加代子	馬場加代子	馬場正志
成年女子		大島和代	原口惠子	岡野佳浩	木野島大志	小野島正志	小野島正志
		権藤浩二	佳史	西田佳史	木島正志	島正志	島正志
少年女子		熊本上英介	竹田佳史	藤井直子	木島安代	高峯和子	高峰貴美子
		井上哲章	田佳史	遠藤えり子	木島安代	高峰貴美子	高峰貴美子
少年女子		北田スミ子	岡田栄子	新潟	木島安代	高峰貴美子	高峰貴美子
		植田日出子	藤岡栄子	遠藤えり子	木島安代	高峰貴美子	高峰貴美子
成年男子		富山米正隆	堂谷内均	長谷川進	小島一平	池田隆治	菅原敏明
		二上敏博	内均	舛田吉光	神奈川	田隆治	明
成年女子		端洋護	谷美津代	谷美津代	小松澄子	渡辺喜美	柳田智佳子
		東京渡辺多喜子	若村弥生	若村弥生	愛知	柳田智佳子	柳田智佳子
少年男子		高岸陽子	阪口典子	大島正志	井上哲章	伊東幸男	福田和幸
		山本裕幸	大堀円	大島正志	木島正志	木島正志	木島正志
少年女子		滋賀竹端英夫	戸村正樹	木島正志	木島正志	木島正志	木島正志
		松浦進二	尾崎升美	松田全代	野上満子	山内美子	山田登美子
少年女子		高峯和子	大阪	新木千織	新潟	山内美子	山田登美子
		森山弘美	新木千織	尾崎升美	木島正志	木島正志	木島正志

第35回 昭和55年 栃の葉国体 栃木県 真岡市総合体育館（総合優勝 富山県）

順位 種別		1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉	長谷川進	小島一平	小島一平	池田隆治	菅原敏明
	米正隆	舛田吉光	舛田吉光	神奈川	神奈川	田隆治	明
成年女子	東京	端洋護	谷美津代	小松澄子	小松澄子	渡辺喜美	柳田智佳子
	高岸陽子	滋賀若村弥生	滋賀若村弥生	愛知	愛知	柳田智佳子	柳田智佳子
少年男子	滋賀	高岸陽子	阪口典子	大島正志	井上哲章	伊東幸男	福田和幸
	竹端英夫	木島正志	木島正志	木島正志	木島正志	木島正志	木島正志
少年女子	松浦進二	戸村正樹	木島正志	木島正志	木島正志	木島正志	木島正志
	高峯和子	尾崎升美	松田全代	野上満子	野上満子	山内美子	山田登美子
少年女子	熊本陣内貴美子	大阪	新木千織	新潟	新潟	山内美子	山田登美子
	森山弘美	尾崎升美	尾崎升美	木島正志	木島正志	木島正志	木島正志

第36回 昭和56年 びわこ国体 滋賀県 大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝 滋賀県）

順位 種別		1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉	佐藤光伸	今井勇司	今井勇司	河村茂美	河村茂美
	米正隆	青森須藤茂	青森須藤茂	群馬秋庭克行	群馬秋庭克行	大坂平久美子	大坂平久美子
成年女子	東京	湯木博恵	谷美津代	河村茂美	河村茂美	葛西明子	葛西明子
	高岸陽子	滋賀西村美千代	滋賀西村美千代	大阪	大阪	久美子	久美子
少年男子	月岡広美	磯野恵理子	磯野恵理子	葛西明子	葛西明子	羽田義仁	羽田義仁
	滋賀	松浦進二	松野修二	石川村松博	石川村松博	木村照啓	木村照啓
少年女子	片岡泰	山梨宮健次	山梨宮健次	新潟石崎咲知子	新潟石崎咲知子	山内美子	山内美子
	辻田泰昌	宮康二	永井明美	木田佳代子	木田佳代子	木田佳代子	木田佳代子
少年女子	陣内貴美子	山内佳子	香川佃貴子	新潟石崎咲知子	新潟石崎咲知子	山内美子	山内美子
	熊本高峯尚子	佳子	永井明美	木田佳代子	木田佳代子	木田佳代子	木田佳代子
少年女子	森山弘美	香川佃貴子	香川佃貴子	新潟石崎咲知子	新潟石崎咲知子	山内美子	山内美子
	高峯尚子	永井明美	永井明美	木田佳代子	木田佳代子	木田佳代子	木田佳代子

第37回 昭和57年 くにびき国体 島根県 大東町立体育館（総合優勝 滋賀県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	今井勇司 群馬 鎌木智博 秋庭克行	今泉勉 富山 米沢和男 米正隆	遠藤好男 北海道 米山孝二 千葉昌弘
成年女子	河本小織 岡山 高田幹子 小寺裕美	河村茂美 大阪 平久美子 国奥美智子	山本美津子 静岡 川島直子 原田純子
少年男子	西川勉 滋賀 辻田泰昌 杉本吉男	山尾克則 石川 岡島浩一 羽田憲治	長内征美 埼玉 新井利幸 大割誠一郎
少年女子	松田太嘉子 大阪 石井香澄 鴻原春美	森山弘美 熊本 高峯尚子 青木きよみ	三沢真奈美 栃木 岡崎仁子 小貫早苗

第38回 昭和58年 あかぎ国体 群馬県 桐生市民体育館（総合優勝 群馬県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	今井勇司 群馬 栗原恒夫 鎌木智博	鈴木裕 新潟 山下圭一 飯塚芳英	後藤和之 静岡 飯野佳孝 井出裕雄
成年女子	河本小織 岡山 高田幹子 中原裕美	川島直子 静岡 白松千加子 原田純子	枝美代子 東京 月岡広美 高峯尚子
少年男子	川本英明 熊本 林謙一 三次英昭	佐藤浩 兵庫 松本泰典 村山喜洋	見市昌弘 奈良 小野満哲 村山友二
少年女子	鴻原春美 大阪 新木貴子 宮崎正美	上村美香 熊本 平井真由美 青木きよみ	原田真理恵 新潟 本田みどり 川野名智美

第39回 昭和59年 わかくさ国体 奈良県 田原本町中央体育館（総合優勝 大阪府）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	工士恭司 熊本 江藤正治 権藤浩二	今井勇司 群馬 栗原恒夫 鎌木智博	辻敏弘 奈良 中井基夫 吉岡伸浩
成年女子	葛西明子 大阪 星和枝 平山美恵子	伊東ひとみ 石川 小野順子 小路和代	枝美代子 東京 森山弘美 三田知佳子
少年男子	江藤裕樹 滋賀 中川健 中川康	平井保光 富山 中嶋正男 室田繁行	松元功一 埼玉 生井沢勝美 石橋隆
少年女子	新木貴子 大阪 今村薰 山田陽子	若井郁子 新潟 小池由扶子 青戸香織	徳光由美子 青森 谷地春子 西田美知子

第40回 昭和60年 わかとり国体 鳥取県 県立由良育英高校体育館（総合優勝 熊本県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	工士恭司 熊本 権藤浩二 堺圭一	今井勇司 群馬栗原恒夫 竹内康夫	坂本宏志 愛知古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	月岡広美 新潟野上満子 山内美子	高峯和子 大阪星和枝 平山美恵子	東海林文子 山形佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	生井沢勝美 埼玉菊地修 石橋隆	気谷篤人 石川山本明彦 中川守	浜北和彦 熊本中村徳祐 小本義久
少年女子	田島志乃 熊本田代美智世 松尾知美	小池由扶子 新潟青戸香織 棒匡子	横手智江美 青森平間由紀 乳井智秋

第41回 昭和61年 かいじ国体 山梨県 勝沼町民体育館（総合優勝 山梨県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	山本裕幸 山梨松野修二 宮健次	森下一夫 大阪谷田尚嗣 保科正浩	工士恭司 熊本権藤浩二 堺圭一
成年女子	月岡広美 新潟野上満子 山内美子	今川真理子 富山大谷鶴美 田向和子	高田幹子 山梨野口英代 清藤和
少年男子	久住猛 熊本畠野宏幸 本山秀昭	内田高史 山梨輿石努 岩佐延寿	吉田直樹 富山越田芳成 城木夢高
少年女子	田村富士美 福岡田島由美 間庭由美	松尾知美 熊本毛利千秋 渡辺喜美子	秋元美佐緒 埼玉太田悦子 清水由紀子

第42回 昭和62年 海邦国体 沖縄県 糸満市西崎総合体育館（総合優勝 熊本県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	蘭和真 岐阜木内広史 横尾宣幸	栗原恒夫 群馬竹内康夫 片桐哲也	工士恭司 熊本権藤浩二 堺圭一
成年女子	今川真理子 富山大谷鶴美 伏喜由美子	宮本美津子 愛知大屋幸恵 松本清美	彼島佳子 石川小路和代 水本幸代
少年男子	鈴木草麻生 滋賀平井肇 小河原崇	本山秀昭 熊本高村誠也 廣龍宗美	関根英勝 埼玉石井隆 鈴木秀二
少年女子	中原敬子 熊本甲斐美和 宮村愛子	南里高子 大阪岩田良子 水井妃佐子	棒匡子 新潟高橋朱美 加賀ゆかり

第43回 昭和63年 京都国体 京都府 長岡京市西山公園体育館（総合優勝 大阪府）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	長谷川 博幸 神奈川 石場 隆雄 細谷 昇	村尾 勉 京都 山本 裕幸 杉本 吉男	鏑木 智博 群馬 竹内 康夫 片桐 哲也
成年女子	今川 真理子 富山 大谷 鶴美 伏喜 由美子	今村 薫 大阪 田代 美智世 磯崎 照枝	大屋 幸恵 愛知 丑田 明子 佐々 恵理
少年男子	大谷 知昌 埼玉 内村 剛 須賀 隆弘	工藤 忠和 北海道 藤本 謙治 村井 秀樹	平井 肇 滋賀 小河原 崇 中橋 一晃
少年女子	岩田 良子 大阪 水井 妃佐子 新木 美志子	中原 敬子 熊本 甲斐 美和 宮村 愛子	立花 久枝 宮城 矢野 直子 伏見 亜古

第44回 平成元年 はまなす国体 北海道 日本工学院北海道専門体育館（総合優勝 熊本県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	長谷川 博幸 神奈川 石場 隆雄 細谷 昇	伊藤 雅弘 北海道 山尾 克則 角谷 淳一	村尾 勉 京都 山本 裕幸 杉本 吉男
成年女子	野口 英代 群馬 中島 真美 藤岡 美智子	今村 薫 大阪 奥山 保子 秋元 美佐緒	都木 弘美 東京 毛利 千秋 星野 実智代
少年男子	佐藤 嘉伸 北海道 郷路 一郎 古川 英樹	片山 卓哉 埼玉 久保田 雄三 関根 靖則	田上 厚志 熊本 本田 和裕 霜上 和宏
少年女子	宮村 愛子 熊本 松田 治子 阪本 雅子	水井 妃佐子 大阪 利川 三貴 坂田 美佐	庄島 由美子 佐賀 寺尾 美紀 篠原 久子

第45回 平成2年 とびうめ国体 福岡県 筑紫野市農業者トレーニングセンター（総合優勝 大阪府）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	福田 実 三重 中川 健 常山 兼二	辻田 泰昌 大阪 奥野 勉 早戸 敬雄	荒木 秀文 福岡 中村 正巳 石井 正行
成年女子	清水 尚美 福岡 田村 富士美 田頭 美奈子	金丸 陽子 静岡 横手 智江美 山田 美紀	今村 薫 大阪 奥山 保子 三ツ川 貴子
少年男子	岸田 明宏 大阪 上瀧 賢二 片岡 詔市郎	本田 和裕 熊本 岡部 英朗 前田 尚史	関根 靖則 埼玉 高橋 真 増田 直樹
少年女子	井田 貴子 埼玉 青木 由美子 浜崎 忍	松田 洋子 大阪 杉田 暢子 大田 貴子	寺尾 美紀 佐賀 篠原 久子 鬼塚 知美

第46回 平成3年 石川国体 石川県 美川町総合スポーツセンター（総合優勝 石川県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	中川 健 三重 常山 兼二 山内 一志	辻田 泰昌 大阪 奥野 勉 早戸 敬雄	毛利 達彦 石川 羽田 義仁 崎田 健一
成年女子	田児 よし子 東京 都木 弘美 立花 久枝	青戸 香織 神奈川 森 真由美 加賀 ゆかり	小泉 陽子 石川 上浜 陽子 中尾 仁美
少年男子	太田 慎二 千葉 石橋 秀法 佐藤 裕二	増田 直樹 埼玉 高橋 真 加賀谷 洋	青木 康 石川 竹鼻 拓也 石本 明男
少年女子	橋本 淳子 宮城 山田 裕美 貴田 泉	高野 八重 群馬 丹野 恭子 田部井 美奈	津田 藍子 石川 安田 香奈 丸山 実支子

第47回 平成4年 ベニバナ国体 山形県 新庄市体育館（総合優勝 熊本県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	辻田 泰昌 大阪 今井 彰宏 鈴木 草麻生	西山 博司 山形 渡邊 清一 寺島 剛志	角谷 淳一 北海道 工藤 忠和 古川 英樹
成年女子	大堀 麻紀 富山 佐々木 忍 野々村 美春	林 美希 熊本 田畠 美香 上田 純子	田児 よし子 東京 岡山 登紀子 立花 久枝
少年男子	高橋 幸治 群馬 横山 秀之 坂入 秀貴	成島 瑞穂 茨城 樋渡 順也 矢部 正博	片岡 直茂 熊本 花田 政文 野田 亮介
少年女子	大田 貴子 大阪 水井 泰子 川口 桐香	小室 恭子 埼玉 伊藤 さおり 浅井 康代	宮村 亜貴子 熊本 村上 直美 伊藤 真由美

第48回 平成5年 東四国国体 香川県 坂出市立体育館（総合優勝 大阪府）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	高橋 英治 東京 峯岸 康史 須賀 隆弘	谷田 尚嗣 大阪 植村 昭彦 常山 兼二	中川 健 三重 磯部 昌弘 吉田 義利
成年女子	西田 美由紀 大阪 村上 直美 大田 貴子	林 美希 熊本 田畠 美香 上田 純子	中尾 仁美 香川 川本 光佐子 磯崎 照枝
少年男子	樋渡 順也 茨城 矢部 正博 大橋 雅道	田中 肇一 千葉 池田 哲徳 小倉 伸彦	井野 嘉久 北海道 一宮 孝一 馬木 智一
少年女子	水井 泰子 大阪 川口 桐香 鬼池 めぐみ	増茂 孝枝 北海道 中山 智香子 田村 裕美	山田 潤子 富山 進藤 範子 山田 青子

第49回 平成6年 わかしやち国体 愛知県 大府市民体育館（総合優勝 大阪府）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	須賀 隆弘 東京 片山 卓哉 久保田 雄三	辻田 泰昌 大阪 今井 彰宏 植村 昭彦	気谷 篤人 富山 岩渕 公一 本山 秀昭
成年女子	松尾 知美 東京 道上 彰子 阪本 雅子	佐々木 忍 富山 渡辺 真由美 高野 八重	竹野 景子 新潟 遠藤 みゆき 亀田 幸恵
少年男子	酒井 将之 滋賀 謙訪 良人 松本 徹	一宮 孝一 北海道 馬木 智一 今西 隆浩	津田 光一郎 石川 奥森 正志 舛田 圭太
少年女子	福島 由佳 大阪 鬼池 めぐみ 市橋 美紀	長谷部 裕子 福岡 吉富 明子 吉武 由加里	中麻依子 群馬 岡田 真紀 亀山 貴代

第50回 平成7年 ふくしま国体 福島県 白河市中央体育館（総合優勝 福島県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	柳谷 辰哉 福島 大堀 均 平野 泰宏	気谷 篤人 富山 本山 秀昭 本田 和裕	常山 兼二 大阪 渡辺 哲義 岸田 明宏
成年女子	棒 匠子 福島 大堀 麻紀 寺尾 美紀	中山 智香子 大阪 増茂 孝枝 田中美保	佐々木 忍 富山 松田 治子 高野 八重
少年男子	松本 徹 滋賀 向 裕樹 川口 馨士	渡部 訓生 福島 沈 逸文 竹俣 洋平	徳坂 渉 石川 栄代 正男 舛田 圭太
少年女子	中島 珠美 石川 片糸 由希子 堀 哲子	山田 青子 富山 石橋 陽子 加藤 真知子	吉富 明子 福岡 大石 瞳 稗田 華子

第51回 平成8年 ひろしま国体 広島県 三原リージョンプラザ（総合優勝 熊本県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	今井 彰宏 富山 谷内 貴昭 本田 和裕	霜上 和宏 熊本 花田 政文 福田 茂	村井 秀樹 北海道 佐藤 嘉伸 水澤 直哉
成年女子	河口 奈緒美 富山 明石 由美 市橋 理恵	竹野 景子 新潟 斎藤 かおり 住矢 直美	福井 奈美 広島 吉川 愛 渡辺 夕子
少年男子	舛田 圭太 石川 車 浩明 酒井 忠相	小吹 公彦 埼玉 中西 洋介 長嶺 宙	大東 忠司 熊本 木下 伸介 二瓶 良
少年女子	井川 里美 埼玉 岩脇 史 李 荔	杉浦 美幸 熊本 永峰 弘子 橋本 純子	吉岡 知香 大阪 鄭有璇 安城 美華

第52回 平成9年 なみはや国体 大阪府 大東市立体育館（総合優勝 大阪府）

順位 種別	1位	2位	3位	
成年男子	東京 兒嶋田文常植岸 町須賀隆植 須保田弘三 久保田彦雄	大阪 松井峰生 山村兼二 田岸昭宏 田昭明	福岡 森河 水居 清樹 五十嵐	岡合 水居 文秀 智一 武行
成年女子	大阪 宮崎田克貴 井中智子 山増子 茂枝	奈良 谷口井妃 水井泰 水渡子 渡辺奈	富山 河高 市河 彼岸	山合 野口 橋島 奈美
少年男子	大阪 和田泰 仲修和 永和 福也	熊本 藤二 瓶真 束寿 大中	石川 川彼 車酒 茶茶	川島 井谷 浩忠 徳相
少年女子	福岡 樽野智 森か 中景 内好 好子 子緒	石川 和田修 田井幸 舛田惠 田村惠	大阪 西福 上永 福安 城速	阪上 正麻 永城 華永

第53回 平成10年 かながわ・ゆめ国体 神奈川県 大和市スポーツセンター体育会館（総合優勝 大阪府）

順位 種別	1位	2位	3位	
成年男子	富山 今泉 木井 今大 山	東京 町須 渡邊 渡清	大阪 嶋田 文隆 昇彦 弘一	井田 岸松 川口 峰明 馨
成年女子	奈良 大谷 水井 市橋 松理	茨城 泰子 倉坂 米大 岩	富山 和弘 加奈 千尋 絵理	河合 野口 石島 昭八 奈由
少年男子	熊本 大藤 束大 中真 茂見 祥平	埼玉 浩二 也史 政和 大川	石川 根村 山崎 務彦 彦史	島井 酒茶 山下 忠徳 相靖
少年女子	福岡 樽野 中智 藤内 本景 松乃 尾惠 穗子	大分 吉末 赤赤 田綱 尾尾	埼玉 吉末 信聰 美亞 之子 代希	藤熊 加大 山口 勝子 倫絵 婷

第54回 平成11年 くまもと未来国体 熊本県 八代市総合体育館（総合優勝 熊本県）

順位 種別	1位	2位	3位	
成年男子	熊本 石霜 花大 上田 和忠 大忠 忠司	富山 黒之 大吉 和政 忠政 吉大 司助	神奈川 今泉 井山 川大 大三 佳子	場田 外清 古河 山山 合本 田岡
成年女子	大阪 大宮 鬼森 関本 本克 めぐ おり 祥子	茨城 崎池 中大 大米 中大 塚倉 島坂 坂	富山 今大 吉大 加奈 千尋 子尋	山合 山山 本田 山岡 山岡
少年男子	東京 渋谷 安佐 佐佐 佐々 木藤 村藤 翔	熊本 大谷 村美 佐介 佐介 翔	香川 藤見 田伊 茂池 土田	野宮 二前 木中 田島 岡二 前木 中陳 大広
少年女子	福岡 明神 松藤 藤脇 本坂	熊本 憲一 美穂 乃惠 子惠 郁	埼玉 東上 本口 伊田 松野	敬和 佳和 文浩 正曉 詩敏 娜織 香まり

第55回 平成12年 2000年とやま国体 富山県 高岡市民体育館 (総合優勝 富山県)

順位 種別	1位	2位	3位			
成年男子	富山 今泉 紀夫 今井 谷内 大山 宏司	熊本 村花 田上 古喜 井多 喜閔 本上 田西	中田 陽政 田上 良博 井高 努子 本上 晴予	介文 治高 政良 博 政司 祥千 良予 予	太治 隆太 高裕 隆志 古河 昭静 水川 露青	雄太 雄志 志輔 博香 太志 子子
成年女子	茨城 下米 鳥倉 長岩 繩松 岩松 美佳子 絵理子	大阪	山川 形口 米劉	英佳 隆志 佳隆 志	明介 夫遠 介夫 遠	太治 一幸 志圭 幸圭
少年男子	東京 渋佐 佐々木 佐池	富山	山川 形口 米劉	英佳 隆志 佳隆 志	明介 夫遠 介夫 遠	太治 司平 雄一 幸圭
少年女子	青森 高廣 今別府 瀬瀬 勝 楊 靖	富山	麦田 谷村 今劉 井	正美 谷村 幸代 井	二幸 仁 幸代 仁	良友 野田 真鯉 田山 西宇 津

第56回 平成13年 新世界・みやぎ国体 宮城県 塩竈市体育館 (総合優勝 富山県)

順位 種別	1位	2位	3位			
成年男子	富山 今吉 大田 外 束大 田 忠司 村 司	熊本 村古 花田 上島 田島	中井 陽博 田良 一裕 井一 裕	介高 文治 博政 一裕 高志 一裕	太治 條村 翔一 井谷 翔一 賀谷	尚士 憲剛 士洋 博子 士洋 博子
成年女子	千葉 中寺 松赤 本 谷尾 村 新悦 田 赤尾 田 亚希 美 希希 真 希希 知	茨城 小松 正梅 上島 浦木 滝屋 正梅 藤屋	大島 夫子 浦木 夫子 木津 澄惠 津惠 澄惠	英一 裕夫 一裕 夫子 正梅 澄惠 正梅 澄惠	太治 河合 山田 田村 山田 伯	昭潤 幸佳 潤美 幸佳 美知 幸佳
少年男子	東京 渋山 池新 浦田 谷開 尚雄 池新 尚雄 池新 慎	埼玉 大斎 堤井 上藤 堤井 上藤	大井 大井 斎堤 伸史 井敦 史也	英一 貴元 斎堤 伸史 大井 敦知	太治 戸岩 長鈕 岩長 鈕	潤生 峰克 生博 峰克 平佳 峰克
少年女子	青森 高楊 今別府 瀬瀬 勝 廣瀬 靖 瀬瀬 靖	富山 仁琳 仁琳 蘭 仁琳 蘭 仁琳 刘	中佐 田庄 伯庄 美沙 佐伯 美沙 佐劉 翠代	二都 都 都晶 伸史 都晶 伸史 都晶 伸史	太治 吉服 倉橋 吉服 倉橋 吉服 倉橋 吉服	信麻 田部 一衣 田部 一衣 田部 一麻衣 田部

第57回 平成14年 よさこい高知国体 高知県 南国市立スポーツセンター (総合優勝 東京都)

順位 種別	1位	2位	3位			
成年男子	富山 今泉 大田 外 束大 田 忠司 村 司	北海道 古水 三長 上原 長山 並川 山小 長徳	川澤 英直 三長 正正 長山 尚正 山小 美佳	樹哉 司博 直裕 正正 裕正 美佳	渡川 大阪 一谷 京都 落岩 宮内 米田 合田	辺口 哲 宮内 孝貴 宮内 久良 合田 加奈
成年女子	千葉 中山 松赤 本 谷尾 村 新静 友 赤尾 亚希	宮城 小長 徳大 井 山秋 井 永屋 上山	藤永 伸尚 大井 貴貴 秋新 知駿 屋上 伸	樹哉 司也 直裕 正正 裕正 美佳 永屋 伸	渡川 京都 一谷 京都 落岩 宮内 米田 合田	辺口 子子 宮内 子子 宮内 久良 合田 加奈
少年男子	東京 渋池 池新 高谷 谷開 田 池新 雄 池新 慎 高谷 雄 田開 慎	埼玉 美実 一士 幸伸 一士 幸伸 一士 幸伸	大井 美貴 秋新 知駿 屋上 伸治 井治 伸	樹哉 司也 直裕 正正 裕正 美佳 永屋 伸治	渡川 京都 一谷 京都 落岩 宮内 米田 合田	辺口 哲 宮内 孝貴 宮内 久良 合田 加奈
少年女子	青森 高廣 今別府 瀬瀬 勝 廣瀬 靖 瀬瀬 靖	岐阜 仁理 仁理 知 仁理 知 仁理 知	藤田 胸伸 田藤 胸伸 藤後 胸伸 藤後 胸伸	樹哉 司也 直裕 正正 裕正 美佳 永屋 伸治	渡川 京都 一谷 京都 落岩 宮内 米田 合田	辺口 哲 宮内 孝貴 宮内 久良 合田 加奈

第58回 平成15年 NEW!!わかふじ国体 静岡県 富士宮市民体育館 (総合優勝 東京都)

順位 種別	1位	2位	3位			
成年男子	東京 兒嶋 久保田 片山 清水	岡山 藤松 尾佐 原川 崎伯	宮城 道弘 記久 大勝 浩一	利田 原草 山鈴 下木 井	雄篤 洋知 彰景 幸内	平道 子代 宏子 子代
成年女子	千葉 中寺 本村 松赤 田尾	新悦 友一 子美 希亞	宮城 山並 川繩 永幸	人子 尚美 佳子	熊本 今末 中今	子代 今幸 貴内
少年男子	滋賀 藤数 上野 良健 早川 信太 早崎 賢修	東京 小高 堀林 木川	埼玉 重洋 善德	大中 黒宗 大田	司介 祐俊 俊	明克 司介 明克
少年女子	宮城 常平 松麻 山村 植咲 まさよ	青森 高屋 柳澤 小藤 今別府	仁子 知美 佑紀 香里	工吉 前岡	藤村 田田	参美 順ひとみ

第59回 平成16年 彩の国まごころ国体 埼玉県 久喜市総合体育館 (総合優勝 埼玉県)

順位 種別	1位	2位	3位			
成年男子	富山 今井 泉田 大東 大東 圭忠 真也	埼玉 中山 條田 福井 西中	北海道 彪英 孝士 剛洋 介人	倉本 小松 竹村 長原	隆正 司章 純博	子幸 里代
成年女子	熊本 今末 井綱 幡谷 前田	宮城 中山 並川 小長 平山	東京 正尚 人子 美佳	田井 岩田 山媚 今別府	良美 映靖	子幸 里代
少年男子	東京 渋藤 堀高 谷田 川階	埼玉 実生 真善 知也	滋賀 好和 大和 由司	藤早 上川 早川 崎下	良賢 修剛	信一 平士
少年女子	青森 高屋 今別府 本藤 間井	埼玉 仁里 香瑞 ちさと 希	宮城 名高 倉橋 井季	田村 常松 麻大 植阪	貴咲 希よ 希よ あや	裕希 咲希 あや

第60回 平成17年 晴れの国おかやま国体 岡山県 岡山市総合文化体育館 (総合優勝 埼玉県)

順位 種別	1位	2位	3位			
成年男子	富山 荒舛 木田 大東 大東 圭忠 真也	埼玉 中山 條田 福井 西中	東京 彪英 孝士 剛洋 介人	町田 松本 川口 清水	文彦 徹士 馨裕	彦徹 士裕
成年女子	岐阜 尾後 藤吉 藤田 村征	熊本 今末 井綱 井田 今前	大阪 彰英 聰幸 井田 順美	谷内 坂谷 恵多 今別府	貴郁 郁香	昭郁 惠里
少年男子	埼玉 大林 三上 橋田	岡山 西崎 伯三 宅元	滋賀 文祐 達優 樹郎	藤上 早田 川車 浜樽	良修 昭剛	信平 太士
少年女子	青森 高本 藤垣 間井 岩	埼玉 仁里 ちさと 希佳	石川 田部 井上 春永	中野 出中 野出	浩麻 亞希	明子 恵なつき

第61回 平成18年 のじぎく兵庫国体 兵庫県 宝塚市立総合体育館（総合優勝 埼玉県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	富山 今井大劉 泉州大東 圭太志 司遠	埼玉 中仲井山 條尾上田 修知和	秋田 鈴佐々西 木木浦 理和佳
成年女子	埼玉 小岩大広 室脇熊岡 恭倫 子香	熊本 今幡今岡 井谷井 彰好幸	岐阜 尾後脇吉 藤藤田 治愛侑
少年男子	埼玉 大上田佐々木 屋田児木 貴拓賢 司馬一啓	福井 木戸川木村 松笛川 直里勝	熊本 権武嘉園 藤山村田 浩修健啓
少年女子	石川 車樽木南 野村出 浩唯 明菜 恵さ	青森 藤藤佐々垣 田井木岩 眞瑞理令 人希恵佳	埼玉 田部井大三 森木森 秀郎舞 佑里紗

第62回 平成19年 秋田わか杉国体 秋田県 美郷総合体育館（総合優勝 秋田県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	秋田 鈴木理之 佐々木野 菅俊佳 木野俊佳	富山 今平劉菊 田田 典志健康 遠一修	滋賀 酒数早 井野川崎 良健賢修
成年女子	石川 和田梅樽 田井津野 美知恵	秋田 鈴三金下 木好上崎 奈路修緒	神奈川 見田東藤 鶴坂伊内 彦美奈実
少年男子	埼玉 大松丸田 屋丸児田 貴一賢 司輝一周	熊本 権嘉園今 藤村田給黎 浩健啓将	福井 戸浦京井 松千坂明 元輝将也
少年女子	青森 藤垣内橋 田岩井本 眞令快由 人佳枝衣	石川 車桜村三 井上谷 明みどり 浩彩美菜津	福岡 戸神原田 栗植古 憲文一音悠 賀さやみ

第63回 平成20年 チャレンジ！おおいた国体 大分県 日田市総合体育館
(総合優勝 東京都・熊本県・富山県・青森県)

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	富山 荒木平劉 木田古財 純典志和	東京 笹林坂 早廣岩部 幸好峰脇	埼玉 中井西 上田丸上松 洋拓馬
成年女子	熊本 今幡藤垣 井谷井岩 彰好瑞令 宏美希佳	秋田 原田好 三金楠好上瀬 奈路由佳	東京 梅野今 別府伊野尻 昌靖可
少年男子	福岡 北島松野 末田北原 義拓和 浩純二憲	滋賀 藤矢村宇 上部上野 良拓賢	青森 戸北吉櫻 祭島田庭 潤翼弘貴
少年女子	宮城 高田高佐 所橋藤友 光礼冴美佐紀	青森 藤橋米佐 本元藤 真由小 人衣春楓	大阪 後万西久福 尚弘尚友 嗣理あすみ子

第64回 平成21年 トキめき新潟国体 新潟県 五泉市総合会館（総合優勝 東京都）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	東京 笠廣岩山 部脇田 義好峰和 春輝生司	熊本 村武園嘉 中山田村 陽修啓健 介三悟士	宮城 草菊佐木 井田藤戸 健一黎道
成年女子	岐阜 山後脇江 田藤田 青子愛侑恵 理	秋田 原金三楠 田上好瀬 利路奈由 雄子緒佳	大阪 谷森今関 内貴別府谷 昭かおり里由
少年男子	埼玉 大星小長谷川 野林達 貴翔平晃也	熊本 権嘉坂平 藤村中山 豊昌賢涼	東京 小間高鄭 林瀬岡 重俊透圭
少年女子	青森 藤佐田市 佐藤中丸 真志美 楓穂里	石川 車三平 谷野納 浩美菜華	富山 麦古高中 明津梨英莉佳

第65回 平成22年 ゆめ半島千葉国体 千葉県 野田市関宿総合公園体育館、野田市総合公園体育館（総合優勝 埼玉県）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	千葉 野佐山川 藤口崇内 和翔公士 弘治洋	東京 坂廣池佐 本部田伯 修好雄祐	富山 荒古橋黒 木財本瀬 純輝且敏
成年女子	岐阜 山後脇江 田藤田 青子愛侑恵 理	石川 和田樽伊 田井野東 美可	兵庫 酒木小大 井村棕迫 将早し晴の紀
少年男子	埼玉 大和竹竹 田内内 貴治宏義 治久氣憲	福島 大桃松小 大堀田居 懇均	大阪 有相小佐 田和高野 圭勇拓也
少年女子	埼玉 大中小奥 高村橋原 史梨希 夫沙霞望	愛知 下峰與城 犬込貞司 美み	富山 麦高古中 谷橋西尾 加沙也佳

第66回 平成23年 おいでませ！山口国体 山口県 光市総合体育館（総合優勝 埼玉県・東京都）

順位 種別	1位	2位	3位
成年男子	東京 坂池藤井 本田田畠 修雄真亮 一生太	富山 荒木小瀬 木財瀬谷 和尊	山口 大山松米 純樹敏翔
成年女子	石川 毛三伊樽 利谷東野 達美可 彦津奈恵	岐阜 尾脇梅江 藤田津藤 伸	秋田 原楠馬下 田瀬上崎
少年男子	福島 大齋桃松 堀藤田居 太賢圭 均一斗郎	埼玉 大古井金 屋賀上子 貴司輝	東京 小関森吉 重直
少年女子	青森 藤福篠窓 島谷場 真由菜由 紀留加奈	埼玉 大小奥渡 高橋原邊 史拓祐	石川 芝木星 由浩真

第67回 平成24年 ぎふ清流国体 岐阜県 池田町総合体育館（総合優勝 埼玉県）

順位 種別	1位	2位	3位	
成年男子	埼玉 中山遠上 藤田大和 大田拓伸	富山 荒園嘉武 木田利子 田下健利	千葉 野竹大利 内越丸利 越伊樽三	和宏彦 弘氣 一達彦 一惠美
成年女子	岐阜 尾後藤江 藤田理別 大井屋	東京 岩今田 田土大 田居桃	石川 代田 千杏秋 堀田均	川奈惠 美津
少年男子	埼玉 上子本 金拓祐 西斗樹	福島 大居保 松木堀 松保堀	滋賀 賀主 一郎朗	賀修一 駿剛
少年女子	埼玉 原田山 奥山渡 邊中	青森 秀希 希あか 樹望ね	富山 真藤 田中田 田浦麗	山田幸 田上ソ 松野碧

第68回 平成25年 スポーツ祭東京2013 東京都 町田市立総合体育館（総合優勝 埼玉県）

順位 種別	1位	2位	3位		
成年男子	富山 木佐々木 園嘉清 木田水橋 村友井高 大屋松土 五十嵐貴 中屋裕裕	埼玉 純翔悟士 大和介 山和桂 山吉峰 下有田 常有田 常正田	東京 由司周子 子美紀花 花一走太 也樹映望 也樹映望 羅	坂数本 上早田 山田藤本 山田富富 山成成原 山成成原 山成成原	太馬修 一拓賢 一賢青 一子侑 一恵柳 彦太已 生勝勇 成原馬 成原馬 成原馬
成年女子	東京 清高松土 文礼美佐 和杏紀 奈貴奈	熊本 武華佐 桂步由 福廣圭 廣圭幹 廣圭聖 廣圭秀 廣圭貴 廣圭人	岐阜 由彩圭 花一走太 也樹映望 也樹映望 羅	坂数本 上早田 山田藤本 山田富富 山成成原 山成成原 山成成原	太馬修 一拓賢 一賢青 一子侑 一恵柳 彦太已 生勝勇 成原馬 成原馬 成原馬
少年男子	埼玉 五十嵐 中屋貴 小野寺裕	大阪 五十嵐 中屋裕裕 寺裕裕	福岡 有下常 常正田 正田幹 正田聖 正田秀 正田貴 正田人	坂数本 上早田 山田藤本 山田富富 山成成原 山成成原 山成成原	太馬修 一拓賢 一賢青 一子侑 一恵柳 彦太已 生勝勇 成原馬 成原馬 成原馬
少年女子	青森 宮永永 浦田原和 田原可那	埼玉 真玲和 玲麗可那	埼玉 清川山 中清川山 中清川山 中清川山	坂数本 上早田 山田藤本 山田富富 山成成原 山成成原 山成成原	太馬修 一拓賢 一賢青 一子侑 一恵柳 彦太已 生勝勇 成原馬 成原馬 成原馬

第69回 平成26年 長崎がんばらんば国体 長崎県 長崎市民会館（総合優勝 埼玉県）

順位 種別	1位	2位	3位		
成年男子	石川 川伊坂 坂東井 井小林	北海道 克一進 進範将 将晃	東京 倉小竹 竹佐々木 木島大 島酒井 酒井迫 迫野野 野屋手 手田邊	坂数本 上早田 山田藤本 山田富富 山成成原 山成成原 山成成原	太馬修 一拓賢 一賢青 一子侑 一恵柳 彦太已 生勝勇 成原馬 成原馬 成原馬
成年女子	熊本 今伊福 福廣有 廣有下 下小常	兵庫 彩可由 由彩圭 圭一走 走嵩太 嵩由幹	東京 晴華文 文貴勝 勝政航 航真美 美繪茜	坂数本 上早田 山田藤本 山田富富 山成成原 山成成原 山成成原	太馬修 一拓賢 一賢青 一子侑 一恵柳 彦太已 生勝勇 成原馬 成原馬 成原馬
少年男子	大阪 下小常 常田農 農倉山	埼玉 由幹裕 裕樹彩 彩紗有 有紗惠	福島 安藤 藤安園 園荒田 田木田 田木田 田木田	坂数本 上早田 山田藤本 山田富富 山成成原 山成成原 山成成原	太馬修 一拓賢 一賢青 一子侑 一恵柳 彦太已 生勝勇 成原馬 成原馬 成原馬
少年女子	福島 本大東川 大東川 川多堀野 堀野上	青森 彩紗有 有紗惠奈	埼玉 美絵茜 絵奈羽 羽智里 智里沙 沙涼	坂数本 上早田 山田藤本 山田富富 山成成原 山成成原 山成成原	太馬修 一拓賢 一賢青 一子侑 一恵柳 彦太已 生勝勇 成原馬 成原馬 成原馬

第70回 平成27年 紀の国わかやま国体 和歌山県 岩出市立市民総合体育館 (総合優勝 福島県)

順位 種別	1位	2位	3位		
成年男子	福島 二内齋藤藤松浩良司一圭太一郎	埼玉 田部井松丸内堀古内雅研	宮城 邦輝人輝一研	多川木田諸堀大善大圭	輔生裕祐
成年女子	熊本 今伊福廣井東島田由彩	秋田 原楠米田利由中瀬元	東京 佳春穗田中志	藤井木井大内土鈴仲	祐杏温由紀乃
少年男子	福島 大渡堀辺橋澤勇健直	岡山 松奥山坂大晃	埼玉 恭泰記輔	屋川岡邊大小森渡	貴佳秀航
少年女子	福井 小鈴林木口江陽咲	埼玉 上齋高川田藤畠敏	千葉 純祐紀子	高荒岡木井	雄秀萌
	山西年貴	高川美南	之栄子	沼小	恵天
	彩花		南		みなみ

第71回 平成28年 希望郷いわて国体 岩手県 北上総合体育館 (総合優勝 熊本県)

順位 種別	1位	2位	3位		
成年男子	富山 荒木口山常下農容幹	宮城 諸堀鈴佐太走	熊本 多川木伯大善	井池権上田藤本	哲雄公一平
成年女子	熊本 今伊福廣井東島田由彩	東京 内土鈴高宏花	藤井木祐杏	山道川尾	樹耶羅
少年男子	福島 木本多澤山金久保田	埼玉 大渡裕樹直	屋邊寺貴	権平山	二透摩佑
少年女子	福島 大仁堀平吾	石川 菜咲均	大村貴洋	小高岡浩	雄天
	吾妻橋	明日香	夏萌	沼川	みなみ
			一伽		友理奈

第72回 平成29年 愛顔つなぐえひめ国体 愛媛県 砥部町陶街道ゆとり公園体育館 (総合優勝 埼玉県)

順位 種別	1位	2位	3位		
成年男子	富山 荒木本山常下農	福島 渡部居賀	埼玉 邦訓圭	條中竹小渡	彪憲汰
成年女子	秋田 原米田川元中上	埼玉 山川尾西	熊本 健樹	内川吉峰	義佳航
少年男子	熊本 権藤本中田	宮崎 井出峰川	長崎 長小岩翔	邊富志松	桂步
少年女子	茨城 磯島部老澤	山口 竹柳浅宮	埼玉 光井井内	富貴竜	千奈貴
	中田和	内岩唯	内井唯	本村正吉	陽也
	老澤花	宮内	田内	辻滝	亮
	澤彩			杉正吉	実美杏

第73回 平成30年 福井しあわせ元気団体 福井県 勝山市体育館「ジオアリーナ」 (総合優勝 埼玉県)

順位 種別	1位			2位			3位		
成年男子	富山	荒保 木 小 常	木 木 林 山	純 朗 吾 太	中 井 金 渡	條 上 子 邊	彪 斗 樹 貴	吉 東 渡 三	仁 吾 大 起
成年女子	秋田	三 松 永 川	好 本 原 上	奈 麻 和 紗 可 那 惠 奈	緒 佑 可 那 惠 奈	三 綿 山 西	賢 里 茜 花	横 星 小 大	博 智 保 稀
少年男子	埼玉	大 中 綠 加	大 中 屋 山 川 藤	貴 裕 大 太	司 貴 輝 基	明 宇 佐 高	浩 巧 大 洸	川 井 一 藤	記 太 凌 翼
少年女子	埼玉	淹 上 齋 吉	内 杉 藤 田	亮 杏 夏 実	芝 海 佐 輿	田 原 老 川	由 紀 惠 澄 香	高 山 栗 栗	秀 あ か 琉

第74回 令和元年 いきいき茨城ゆめ国体 茨城県 石岡市石岡運動公園体育館 (総合優勝 熊本県)

順位 種別	1位			2位			3位		
成年男子	富山	荒下武久	木農下保田	純利友之祐	熊本	前山霜田	田田上中	尚和雄湧	史司一士
成年女子	熊本	池峰仲福	田峰井本	雄歩由希乃	茨城	神谷本清舟	ジャーミン	恵利奈	望歩
少年男子	青森	奈良岡武久	奈良岡藤慈	浩功映友	埼玉	大百樋映	屋上口	貴拓	司海輝
少年女子	青森	藤高内加	藤田橋田	眞人優	山口	竹金長水	光廣廻	唯至	至希知

第75回 令和2年 燃ゆる感動かごしま国体 鹿児島県 指宿総合体育館 (中止)

第76回 令和3年 三重とこわか国体 三重県 三重県営サンアリーナ (中止)

第77回 令和4年 いちご一會とちぎ国体 栃木県 栃木県立県北体育館 (総合優勝 埼玉県)

順位 種別	1位				2位				3位			
成年男子	富山	荒木真純	金子大	木子大	山川河	田本村上	秀拓	樹真翼	平松村馬	田本馬	健竜祐	太馬祐
成年女子	岐阜	吉川桂	吉川佳	林野麻	百名林	倉上	拓康	翼海弘	藤山内	山村香	大未百	輔帆薰
少年男子	福島	今多本	古川添	谷野多	吉野裕	上林	瑠璃	樂杏	杉木中	田村田	隼光真	伽琴也
少年女子	青森	崎藤	谷石	岡小	也大	后大	也后	煌和	瀬本大	久松	原河	亮楓弘

特別国民体育大会 令和5年 燃ゆる感動かごしま国体 鹿児島県 指宿総合体育館 (総合優勝 埼玉県)

順位 種別	1位			2位			3位		
成年男子	富山	荒木 金子 橋大 高大	木真 大士 拓真	純大 士真	滋賀	村上 西藤 増原	俊裕 次郎 圭康	田上 柴森 武井	拓馬 一航 士朗
成年女子	岐阜	吉富 古川 川添 小西	桂佳 奈依 麻依	子奈 依子 七春	埼玉	戸上 宮杉 崎井	夫杏 美楓 淳夢	居棟 齋重	樹朗 士生
少年男子	埼玉	大屋 沖角 本田 田澤	貴優 洸修	大介 志	青森	戸今 菅祭 田原	潤大 竜海 斗樹	本多 谷松	裕樹 大健
少年女子	山口	竹田 宮砂	光口 崎川	唯真 友温	青森	藤田 瀬内	人子 真璃 美梨	西岸 根西	勝也 侑美

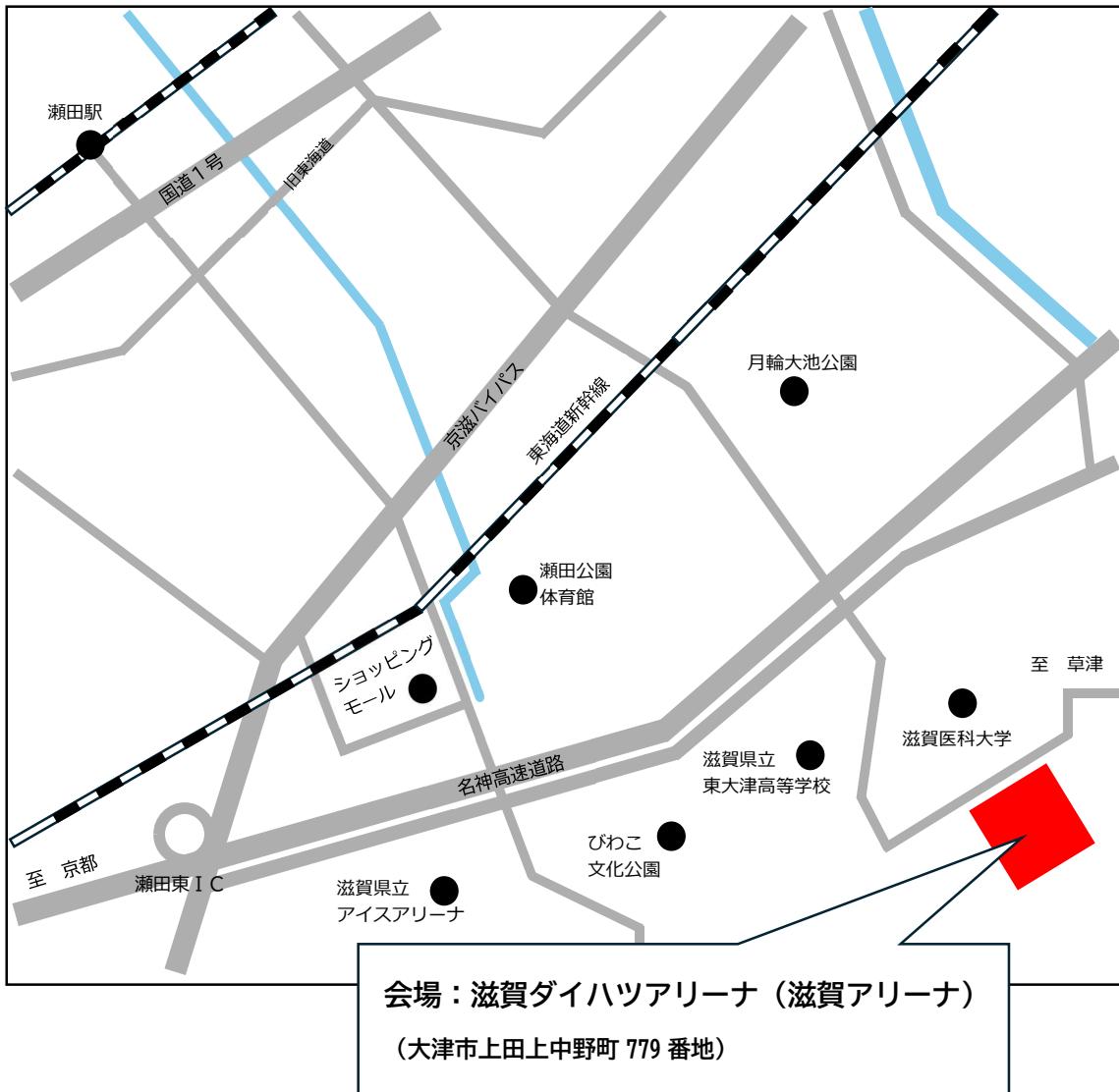
第78回 令和6年 SAGA 2024 佐賀県 唐津市文化体育館 (総合優勝 埼玉県)

順位 種別	1位			2位			3位		
成年男子	東京	落合 古武 沖井	久凛 優本	夫大 輝生	埼玉	山寺 小野 遠川	秀雅 彩拓	樹之 斗真	上川 本川 増衣
成年女子	熊本	池田 松山 郡司	雄奈 莉明	一未 子菜	福島	竹水 山阿	平洋 ひ奈	平ら り緒花	倉杉 木原 名上
少年男子	福島	齋藤 江藤 見吉	亘友 珠田	希李 遥	埼玉	堂有 高石	智琥	珀悠	小明 大中 眞
少年女子	山口	棟砂 松中	居川 本原	秀温 紗心	埼玉	内津 滝高	愛未	亮花 未紗	藤田 谷藤 東工

第79回 令和7年 わたSHIGA輝く国スポ 滋賀県 滋賀ダイハツアリーナ

順位 種別	1位			2位			3位		
成年男子									
成年女子									
少年男子									
少年女子									

競技会場案内図



◆会場へのアクセス

電車

JR 琵琶湖線「瀬田駅」からタクシーで約 15 分（バス停：滋賀アリーナ 降車）

路線バス

帝産湖南交通 / 大学病院（滋賀県）行「滋賀アリーナ」徒歩約1分

無料シャトルバス

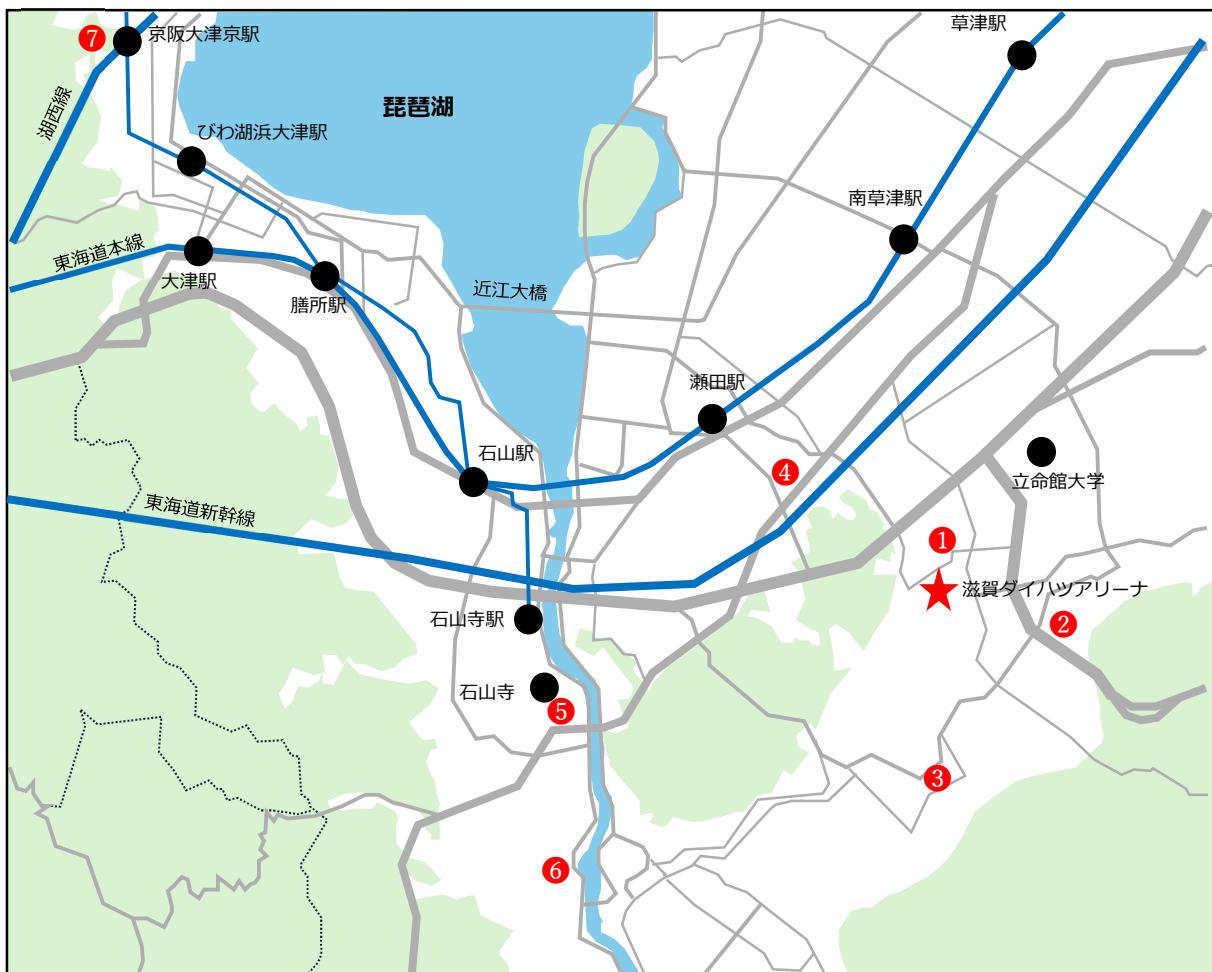
近江鉄道大津営業所（臨時駐車場） ⇄ 滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ） / 約15分

＜パークアンドバスライド＞ 9月28日（日）～10月1日（水）

【自家用車】

新名神高速道路「草津田上 IC」から約 5 分

練習会場案内図



【競技会場】

滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）

住所

大津市上田上中野町 779 番地

【練習会場】

競技会場までの所要時間は記載のとおり。

①国立大学法人滋賀医科大学（徒歩 3 分）

大津市瀬田月輪町七丁目 6

②大津市立上田上小学校（車 5 分）

大津市平野一丁目 18 番 5 号

③龍谷大学瀬田キャンパス体育館（車 6 分）

大津市瀬田大江町横谷 1 番 5 号

④瀬田公園体育館（車 8 分）

大津市一里山六丁目 9 番 1 号

⑤石山市民体育館（車 11 分）

大津市石山寺三丁目 10 番 35 号

⑥大津市立南郷小学校体育館（車 15 分）

大津市南郷一丁目 15 番 9 号

⑦皇子が丘公園体育館（車 35 分）

大津市皇子が丘一丁目 1 番 1 号

第79回国民スポーツ大会 バドミントン競技会

滋賀ダイハツアリーナ

競技会場 1 階



第79回国民スポーツ大会 バドミントン競技会

滋賀ダイハツアリーナ

競技会場 2階



	トイレ		多目的トイレ	
	売店・ キッチンカー		無料ドリンクコーナー・ 給水スポット	
	ふるまい		休憩所	
	きんまいブース (PRブース)		シャトルでダーツ・ シャトルでキーホルダー	
	エレベーター		車いす席	
	救護所		AED	
	授乳室・ おむつ交換所		カームダウンスペース	
	筆談可能		思いやり駐車場	
	喫煙所		シャトルバス乗降所	
	★AD	ADチェック		ゴミ箱

競技上の注意

- 1 本競技会は、2025 年度公益財団法人日本バドミントン協会 競技規則・大会運営規程並びに公認審判員規程により実施します。
- 2 大会会場での服装については、公益財団法人日本スポーツ協会『国民スポーツ大会ユニフォーム規程』を優先適用します。規程に含まれない項目は、上記 1 に基づきます。従って、会場への入場から退場まで、マッチ前のウォームアップを含め、ベンチに控えている際にも都道府県名表示のある上衣を着用することになります。
なお、競技に際しては、上衣背面中央に縦 6 ~ 10cm、横 30cm 以内の範囲に都道府県名を単一色で明示してください。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる色の漢字とします。また、ゼッケンを使用する場合には、縦 15cm、横 30cm を基準とし、必ず四隅を固定してください。文字列の大きさについては上記と同様大会運営規程第 24 条によります。
- 3 競技者は対抗戦開始予定の 1 時間前には会場に到着してください。
- 4 オーダー用紙は、当該対抗戦開始予定時刻 45 分前に、監督がオーダー交換所へ提出し、その場で対戦相手と交換してください。
ただし、45 分前の時点で前の対抗戦が継続している場合は、終了後ただちに提出してください。定時（指示のあった時刻）までに提出されない場合は「棄権」とみなします。
 - (1) オーダー交換は、オーダー交換所でデピュティーレフェリーの立ち合いの下に行います。
※ 予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。
 - (2) オーダー用紙は、初回対抗戦分を監督会議時に配布します。
 - (3) 各対抗戦終了後、勝利チームに次対抗戦用のオーダー用紙を主審から配布します。
 - (4) 第 1 日目から 3 日目の第 1 試合（9 時 30 分開始）のオーダー交換は 8 時 45 分から行います。
 - (5) 第 4 日目の第 1 試合（10 時 00 分開始）のオーダー交換は 9 時 15 分から行います。
- 5 対抗戦は、ダブルス→第 1 シングルス→第 2 シングルスの順で行います。対抗戦の勝敗は、先取マッチ方式で決定し、勝敗決定後の残りのマッチは打ち切りとします。
- 6 競技の進行状況に応じて、予定された開始時刻やコートを変更することや、コートを並行することがあります。放送には十分注意してください。
- 7 監督・プレーヤーは、対抗戦開始予定時刻 20 分前までに選手集合所に集合を完了して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。ただし、その時点で前の対抗戦が継続している場合は、放送の指示により選手集合所に集合してください。集合に際しては、『ID カード』を確認できる位置に表示（着用）してください。
勝ち上がったチームの対抗戦が連続する場合は、前の対抗戦終了 30 分後に次の対抗戦を開始します。
- 8 コートへの入場及び退場については、主審の指示に従ってください。対抗戦開始時、終了時とも、チームは指定コートのショートサービスライン上に整列してあいさつを行ってください。

- 9 マッチ開始前のウォームアップは、対戦チームとあいさつを交わした後、マッチ毎に主審が審判台に座った時から「(ラブオール) プレー」のコールまでの3分間としますが、主審の「レディー トゥ プレー (マッチ開始の準備をしてください。)」のコールでウォームアップを終了し、マッチ開始の準備をしてください。なお、当初から2コート以上を用いる場合も、同様に、マッチの開始前に3分間行ってください。
- ウォームアップは、ダブルスではパートナーと、シングルスでは対戦者同士で行ってください。シャトルは本部で準備します。
- 10 コーチ席を各コート（主審側）に2席設置します。着席できるのは、監督・プレーヤーに限ります。プレーヤーが着席する場合にも、コーチの服装規定（公認審判員規程第5条第12項(8)(9)）が適用されますので、長ズボンまたはスカートの着用が必要です。
- 11 本競技会では、ステンシルマークは表示できません。
- 12 インターバルは、競技規則第16条第2項通り認めます。インターバル中、コートでアドバイスできるのは監督・プレーヤー（コーチの服装規定遵守者）で、同時に2名までとします。各ゲーム間と第3ゲームのインターバルでは、当該プレーヤーがエンドを替えた後にコートに入らなければなりません。主審が「○コート 20秒」のコールを行ったら、当該プレーヤー以外は速やかにコートから離れなければなりません。
- 13 ダブルスと第1シングルスに同一プレーヤーが出場する場合は、主審への申し出によりウェアの着替えのみを認めますが、速やかに行わない場合はプレーの遅延（競技規則第16条第6項）として処置します。
- ダブルスと第2シングルスに同一プレーヤーが出場する場合は、ダブルスの終了から15分後に第2シングルスを始めます。
- 14 プレーの中止は、主審が認めた場合を除き一切認められません。マッチ中のケガ等の場合、コートに入ることを許されるのは、レフェリーまたはデピュティーレフェリーが必要と認める医療役員等に限られています。
- 15 競技規則 第9条 サービス 第1項 (5)
サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。(R7.4.30 改訂)の遵守をお願いします。
- 16 マッチ中の水分補給、汗ふきなどは主審の許可を得なければなりません。
(次のサービスの準備がされる間に瞬時の素早いタオルの使用は認める。)
- 17 コートに持ち込む物品について。
- (1) タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、各自コートサイドにバッグを持ち込んで、すべてを保管してください。
 - (2) 容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用してください。
床が濡れた場合は、各チームの責任で。清掃して下さい。
 - (3) 氷嚢は、ベンチで保管してください。
 - (4) クーラーボックスを持ち込む際は、ソフトタイプの小型の物のみとし、ベンチで保管して下さい。
 - (5) 氷嚢、シューズ底のクリーナーマット等の使用は、インターバル中のみとします。

- 18 ラケットやシャトルの交換時、試打は禁止されています。
- 19 競技フロアでは、競技者（監督・プレーヤー等）の携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源を OFF にしてください。〔公認審判員規程第5条第12項(5)(6)、第15項〕モバイル機器を使用してのマッチ中のアドバイス・コーチングは禁止されています。
- 20 ベンチ付近でのウォームアップはできません。ウォームアップ等についてはサブアリーナのウォーミングアップエリアを利用して下さい。ストレッチ程度であれば選手集合所横のスペースも利用できます。
- 21 プレーヤーの荷物等は、各自持参で入退場してください。
- 22 プレーヤー等のケガ等の場合、大会本部ではマッチ終了後に簡単な応急処置のみ行います。その後は各自・各チームの責任において対応してください。
- 23 観客及びTV（配信）視聴者がプレーヤーを区別しやすくするため、大会最終日（決勝戦・3位決定戦）においては、対戦相手と明らかに違う色のウェア着用にご協力ください。
- 24 その他、国民スポーツ大会バドミントン競技実施要項を遵守してください。

一般注意事項

- (1) 上履きと下履きのエリアに注意し、必ず履き替えてください。
- (2) 盗難事故防止のため、各自で貴重品等の管理をお願いします。
- (3) ゴミは必ず各自で持ち帰ってください。

審判上の注意

- 1 審判員は、2025 年度公益財団法人日本バドミントン協会 競技規則・大会運営規程並びに公認審判員規程に則り、厳正に競技を運営・管理します。
- 2 審判は、主管者で行います。主審、サービスジャッジ、線審 4 名を配置します。〔大会運営規程別表 2〕
- 3 競技規則の第 9 条(サービス)、第 13 条(フォルト)、第 16 条(プレーの継続、不品行な振舞い、罰則)については、厳正に判定します。
プレーヤーが汗を払い、散らしたりした場合〔公認審判員規程第 5 条第 9 項(1)⑥〕や、プレーヤーがインターバル終了までにコートに戻らない場合〔公認審判員規程第 5 条第 10 項(2)〕も、競技規則第 16 条第 7 項を適用し、イエローカード・レッドカードの処置を行います。
- 4 もし、出血がある場合は、出血が止まるまで、あるいは傷が適切に保護されるまで、そのゲームの再開を遅らせます。または、それ以外の場合にレフェリーが主審にゲームの再開を遅らせるよう指示することがあります。〔公認審判員規程第 5 条第 14 項(2)〕
- 5 競技規則 第 9 条 サービス 第 1 項 (5)については、下記のとおり「スピンサーブ(通称)」の使用が禁止されました。
◎ サーバーは、スピン(回転)を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。
- 6 シャトルがインプレーでない場合で、プレーヤーがサービスとレシーブのために位置につくまでの間に限り、プレーヤーはマッチ中、アドバイスを受けることができます。〔競技規則第 16 条第 5 項(1)〕監督・プレーヤーなどが、インプレー中に当該プレーヤーに対して、アドバイスをすることは認められません。
- 7 審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することが認められます。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはなりません。〔大会運営規程第 36 条〕

輸送について

1 輸送について

(1) 輸送方法

選手・監督の宿舎から競技会場及び練習会場への移動は、持込車両もしくは計画輸送（タクシー）での移動となります。

(2) 計画輸送対象

選手・監督を対象とします。

(3) 計画輸送区間

- ・「宿舎」・「競技会場（監督会議会場）」・「練習会場」が計画輸送の対象区間です。
- ・競技最終日【10月1日（水）】に離会される場合は「競技会場」から「JR瀬田駅」まで計画輸送をご利用いただけます。

(4) 留意事項

- ・来会意向調査時に、大会期間中の移動手段を「計画輸送を利用する」と回答いただいたチームには、大津市輸送センターよりタクシー配車予約のお電話を差し上げます。
- ・計画輸送は令和7年9月26日（金）～10月1日（水）のみ使用が可能です（練習日を含む。）。
- ・敗退された翌日は、計画輸送は利用できません。
- ・直接タクシー会社に連絡され乗車されたタクシー料金は自己負担となります。
- ・計画輸送は、競技終了後の買い物や食事等、プライベートな移動にはご利用になれません。実行委員会が不正と認めた場合は不正相当額を請求いたします。

2 駐車場について

(1) 競技会場

来会意向調査時に、大会期間中の移動手段を「自主移動をする」と回答いただいたチームには、「駐車許可証」を事前に配付しております。駐車許可証をお持ちのチームは指定駐車場をご利用ください。

(2) 練習会場

持込み車両のあるチームは指定の駐車場をご利用ください。

(3) 宿舎

宿舎の駐車場の有無については、各宿舎によって異なりますので、宿泊先が決まり次第、必要に応じて宿泊先へお尋ねください。

関係機関連絡先一覧

◆わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
大会総務課	大津市石場10番53号	077-528-2919

◆会場

名称	所在地	電話番号
滋賀ダイハツアリーナ	滋賀県大津市上田上中野町779番地	077-545-0108

◆警察・消防署等

名称	所在地	電話番号
大津警察署	大津市打出浜12番7号	077-522-1234
大津市消防局	大津市御陵町3番1号	077-522-0119
大津市消防局 東消防署	大津市大江四丁目18番1号	077-543-0119
大津市保健所	大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津1階	077-522-6756

◆医療

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット（ナビイ）	右記二次元コードまたは、 「医療情報ネット（ナビイ）」で検索	

◆タクシー事業者（※）

名称	所在地	電話番号
大津第一交通株式会社	大津市柳が崎5番8号	0120-524-447 077-524-4000
滋賀ヤサカ自動車株式会社	大津市湖城が丘6番11号	077-522-6767
琵琶湖タクシー株式会社	大津市におの浜四丁目6番28号	077-522-6677
有限会社共立タクシー	大津市比叡辻二丁目4番31号	077-579-2278
有限会社湖西交通	大津市坂本七丁目33番6号	077-577-1760

※一般社団法人滋賀県タクシー協会会員事業者で、本社所在地が大津市内にある事業者

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会（滋賀県）へのお問合せ

コールセンター：0120-550-882

開設期間：9月1日（月）～10月31日（金）まで（9:00～18:00）

MEMO



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



Otsuka

大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。
指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



『スポハラ』根絶に向けた取組み



NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど) に、

みんなが『NO !』と言う社会を目指して



スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



どなたでもご利用可能!

お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



『スポハラ』根絶に向けた取組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

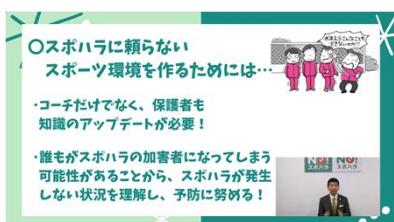


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

＜スポーツ現場におけるハラスメント防止動画＞



＜「スポハラ」に関する情報発信動画＞



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

＜令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）＞



「NO! スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

＜過去開催した研修会等の動画公開＞



＜ポスター・ロゴ等広報ツール＞



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

国スポ会場で

1日たっぷり楽しもう！

国スポは、競技観戦だけじゃない！

大津市の国スポ会場には、“来場して楽しめる”コンテンツをたくさん用意しています。

子どもも一緒に楽しむ！



「OTSU DREAM IT CONTENTS」

大津市で開催するすべての競技会場で、子どもたちの思い出に残る企画を実施！！

「競技紹介」

はじめてでもわかる！！競技の見どころ解説

https://otsu-kokuspo2025.jp/kids_page

きんまいブース（PRブース）

ガイドブックやクーポンを配布！

さらにアンケートに答えると、豪華な
賞品が当たるかも！？



滋賀県内最多 12競技を巡るデジタル
スタンプラリーも！

手づくり のぼり旗

全国から参加する選手のために、
市内の子どもたちが心を込めて製作。
メッセージやイラストは必見！



ふるまいコーナー

大津の銘菓などが無料でもらえる！

ふるまい品のラインナップは要チェック！

※時間・数量限定

“滋賀らしい取組み” 「給水スポット」

水分補給で、暑さをしのごう！

※マイボトル持参にご協力ください

ほかにも、見どころがたくさん！

- ・売店やキッチンカー
- ・花いっぱい運動 などなど…

※会場ごとで、設置の有無が異なります

まちの歓迎装飾

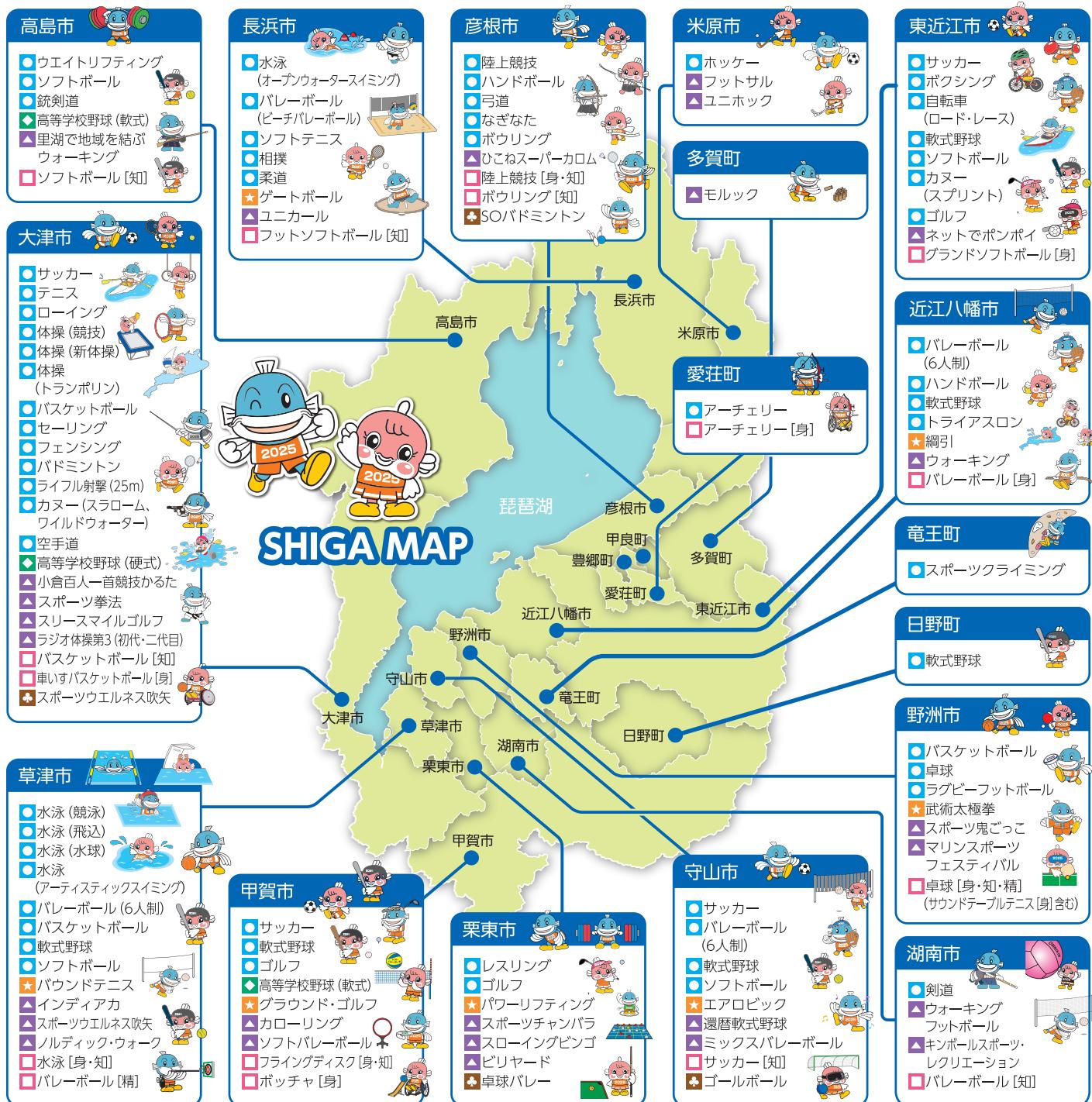
市内を走る京阪電車や駅などを彩り、
大津を訪れる人たちを歓迎！
いくつ見つけられる？



大津市観光キャラクター
おおつ光ルくん

わたSHIGA かがや
輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年2月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技 (37競技)
- ◆ 特別競技 (1競技)
- ★ 公開競技 (7競技)
- ▲ デモンストレーションスポーツ (26競技)

全国障害者スポーツ大会

□ 正式競技(14競技) ◆ オープン競技(4競技)
[身]=身体障害者 [知]=知的障害者 [精]=精神障害者

※国スポーツ競技会の詳細については各競技会場市町にお問い合わせください。
※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

埠外開催競技

京都府
向日市

大阪府
豊能郡能勢町

兵庫県
三木市

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間	令和7年 9月28日(日)～10月8日(水)【11日間開催】
国スポ会期実施競技	令和7年9月6日(土)～9月15日(月)、令和7年9月21日(日)～9月25日(木)
障スポ実施期間	令和7年10月25日(土)～10月27日(日)【3日間開催】

大会 PR
動画を公開！

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。



大会公式SNS・HPはコチラから! [滋賀2025](#) | 検索



- 用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ: 植物油インキを使用

湖国の感動 未来へつなぐ

第79回国民スポーツ大会

わたSHIGA輝く国スポ2025

来年は、第80回国民スポーツ大会が開催されるククス！
オラもみんなのこと、青森県黒石市で待っているよ！ククス



あざましの里くろいし観光大使
「ふるさと☆戦隊 KUROISIX つゆヤキソバン」



大津市観光キャラクター
「おおつ光るくん」

競技記録結果

2025

開設期間

2025年9月1日（月）～12月26日（金）

▼PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html> →



▼フィーチャーフォン（ガラケー）

← <http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>

国スポチャンネル

国スポ競技の動画配信を行っています。

※競技によって配信スケジュールが異なります。

ホームページ：<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/>



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会SNSはこちらをチェック！

大津市実行委員会HP：<http://otsu-kokuspo2025.jp/>

X



Instagram



Facebook



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

滋賀県大津市石場10番53号 TEL：077-528-2919（大会総務課）